ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）
－トリプルリターンズ－
日本円・コース（毎月分配型）
豪ドル・コース（毎月分配型）
ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）
米ドル・コース（毎月分配型）
通貨セレクト・コース（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

日本円・コース（毎月分配型）
豪ドル・コース（毎月分配型）
ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）
米ドル・コース（毎月分配型）
- 第126期（決算日　2022年４月７日）
- 第127期（決算日　2022年５月９日）
- 第128期（決算日　2022年６月７日）
- 第129期（決算日　2022年７月７日）
- 第130期（決算日　2022年８月８日）
- 第131期（決算日　2022年９月７日）

通貨セレクト・コース（毎月分配型）
- 第106期（決算日　2022年４月７日）
- 第107期（決算日　2022年５月９日）
- 第108期（決算日　2022年６月７日）
- 第109期（決算日　2022年７月７日）
- 第110期（決算日　2022年８月８日）
- 第111期（決算日　2022年９月７日）

（作成対象期間　2022年３月８日～2022年９月７日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<3834>
<3835>
<3836>
<3837>
<5763>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	日本円・コース（毎月分配型） 豪ドル・コース（毎月分配型） ブラジル・レアル・コース（毎月分配型） 米ドル・コース（毎月分配型）	2011年９月22日～2026年９月７日
	通貨セレクト・コース（毎月分配型）	2013年５月31日～2026年９月７日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース（毎月分配型）	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース（毎月分配型）	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）」の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース（毎月分配型）	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース（毎月分配型）	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。通貨セレクト・コースは、第１計算期末には、収益の分配は行ないません。	

◇SUZ0383420220907◇

日本円・コース（毎月分配型）

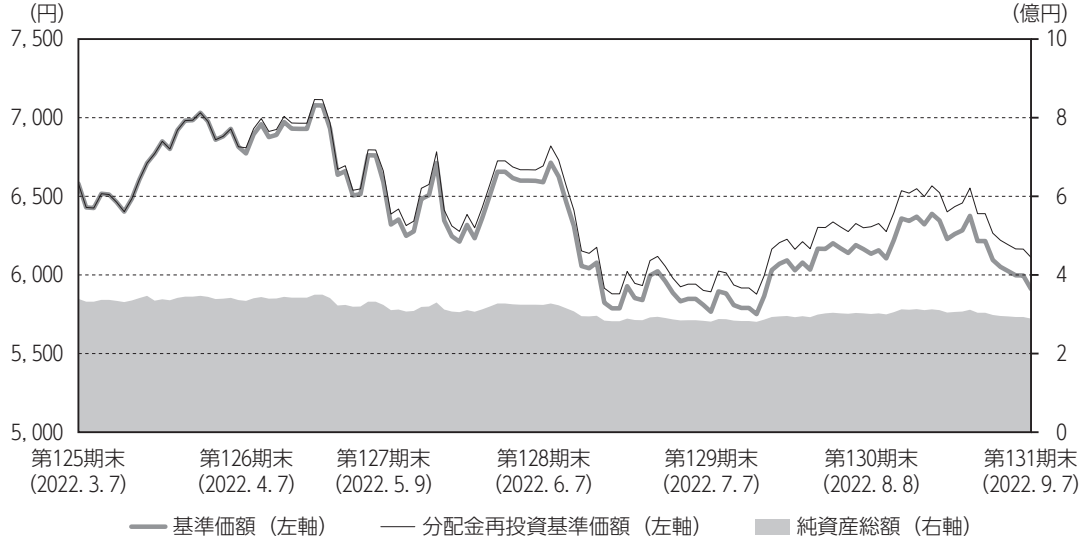
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
102期末（2020年4月7日）	4,856	35	△ 12.5	22,830	△ 10.4	—	97.8	312
103期末（2020年5月7日）	5,058	35	4.9	24,413	6.9	—	98.4	326
104期末（2020年6月8日）	5,522	35	9.9	27,374	12.1	—	99.5	349
105期末（2020年7月7日）	5,464	35	△ 0.4	27,253	△ 0.4	—	99.1	334
106期末（2020年8月7日）	5,570	35	2.6	28,705	5.3	—	99.6	341
107期末（2020年9月7日）	5,542	35	0.1	29,372	2.3	—	99.4	316
108期末（2020年10月7日）	5,525	35	0.3	28,806	△ 1.9	—	98.0	315
109期末（2020年11月9日）	5,564	35	1.3	30,079	4.4	—	98.7	317
110期末（2020年12月7日）	5,888	35	6.5	31,704	5.4	—	98.0	333
111期末（2021年1月7日）	5,943	35	1.5	32,124	1.3	—	99.1	335
112期末（2021年2月8日）	6,035	35	2.1	33,313	3.7	—	98.0	335
113期末（2021年3月8日）	6,064	35	1.1	32,928	△ 1.2	—	98.5	338
114期末（2021年4月7日）	6,403	35	6.2	34,917	6.0	—	99.6	355
115期末（2021年5月7日）	6,506	35	2.2	36,011	3.1	—	98.6	351
116期末（2021年6月7日）	6,491	35	0.3	36,253	0.7	—	98.5	346
117期末（2021年7月7日）	6,503	35	0.7	37,227	2.7	—	99.0	347
118期末（2021年8月10日）	6,563	35	1.5	37,989	2.0	—	98.0	345
119期末（2021年9月7日）	6,654	35	1.9	38,872	2.3	—	99.0	349
120期末（2021年10月7日）	6,281	35	△ 5.1	37,399	△ 3.8	—	98.1	322
121期末（2021年11月8日）	6,467	35	3.5	40,261	7.7	—	98.6	332
122期末（2021年12月7日）	6,380	35	△ 0.8	39,354	△ 2.3	—	99.2	328
123期末（2022年1月7日）	6,735	35	6.1	40,249	2.3	—	99.5	347
124期末（2022年2月7日）	6,556	35	△ 2.1	38,573	△ 4.2	—	97.4	339
125期末（2022年3月7日）	6,580	35	0.9	37,102	△ 3.8	—	99.4	339
126期末（2022年4月7日）	6,773	35	3.5	38,407	3.5	—	98.4	334
127期末（2022年5月9日）	6,592	35	△ 2.2	35,340	△ 8.0	—	99.1	323
128期末（2022年6月7日）	6,589	35	0.5	35,324	△ 0.0	—	96.6	323
129期末（2022年7月7日）	5,766	35	△ 12.0	32,955	△ 6.7	—	99.0	281
130期末（2022年8月8日）	6,135	35	7.0	35,527	7.8	—	99.1	300
131期末（2022年9月7日）	5,911	35	△ 3.1	33,496	△ 5.7	—	97.4	288

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、S＆P500指数（米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第126期首：6,580円
第131期末：5,911円（既払分配金210円）
騰　落　率：△7.1%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資したクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）については、オプション取引戦略はプラス要因となったものの、米国株式市況が下落したことはマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

	年　月　日	基準価額		S&P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	%	%
第126期	（期首）2022年3月7日	6,580	—	37,102	—	—	99.4
	3月末	6,977	6.0	39,446	6.3	—	98.0
	（期末）2022年4月7日	6,808	3.5	38,407	3.5	—	98.4
第127期	（期首）2022年4月7日	6,773	—	38,407	—	—	98.4
	4月末	6,514	△ 3.8	35,860	△ 6.6	—	98.5
	（期末）2022年5月9日	6,627	△ 2.2	35,340	△ 8.0	—	99.1
第128期	（期首）2022年5月9日	6,592	—	35,340	—	—	99.1
	5月末	6,656	1.0	35,639	0.8	—	99.1
	（期末）2022年6月7日	6,624	0.5	35,324	△ 0.0	—	96.6
第129期	（期首）2022年6月7日	6,589	—	35,324	—	—	96.6
	6月末	5,886	△ 10.7	32,730	△ 7.3	—	98.4
	（期末）2022年7月7日	5,801	△ 12.0	32,955	△ 6.7	—	99.0
第130期	（期首）2022年7月7日	5,766	—	32,955	—	—	99.0
	7月末	6,165	6.9	34,904	5.9	—	98.5
	（期末）2022年8月8日	6,170	7.0	35,527	7.8	—	99.1
第131期	（期首）2022年8月8日	6,135	—	35,527	—	—	99.1
	8月末	6,095	△ 0.7	34,164	△ 3.8	—	99.5
	（期末）2022年9月7日	5,946	△ 3.1	33,496	△ 5.7	—	97.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 3. 8 ～ 2022. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首より、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げ決定を受けて上昇してスタートしました。2022年４月から６月にかけては、インフレ率の予想以上の上昇を受けてＦＲＢが利上げを加速するとの思惑が強まり、景気の先行き懸念が台頭したことで、株価は下落しました。その後は、資源価格の上昇一服でインフレ懸念が後退し、将来的な利下げ転換期待なども生じたことで８月半ばにかけて上昇しましたが、ＦＲＢ高官の金融引き締めに積極的な発言などを受け、当作成期末にかけて株価は反落しました。

■短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国の短期金利は、政策金利であるＦＦレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標レンジが0. 00～0. 25％から2. 25～2. 50％に段階的に引き上げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2022. 3. 8 ～ 2022. 9. 7）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

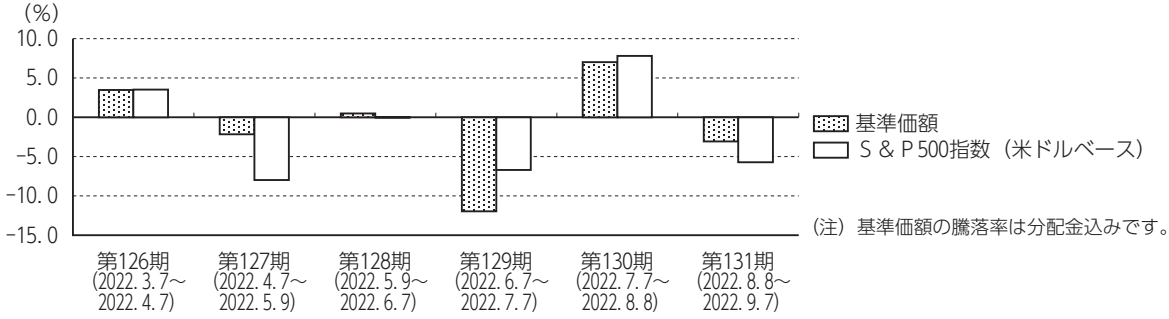
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第126期 2022年３月８日 ～2022年４月７日	第127期 2022年４月８日 ～2022年５月９日	第128期 2022年５月10日 ～2022年６月７日	第129期 2022年６月８日 ～2022年７月７日	第130期 2022年７月８日 ～2022年８月８日	第131期 2022年８月９日 ～2022年９月７日
当期分配金(税込み)（円）	**35**	**35**	**35**	**35**	**35**	**35**
対基準価額比率（％）	0.51	0.53	0.53	0.60	0.57	0.59
当期の収益　（円）	35	35	35	35	35	33
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	1
翌期繰越分配対象額（円）	538	550	564	577	585	584

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓ 54.98円	✓ 46.63円	✓ 48.33円	✓ 48.02円	✓ 42.57円	✓ 33.64円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	222.85	226.97	227.51	228.21	232.99	233.63
（ｄ）分配準備積立金	295.98	312.34	323.45	336.11	344.77	✓ 351.71
（ｅ）当期分配対象額（a+b+c+d）	573.81	585.95	599.30	612.35	620.34	618.99
（ｆ）分配金	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（e－f）	538.81	550.95	564.30	577.35	585.34	583.99

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

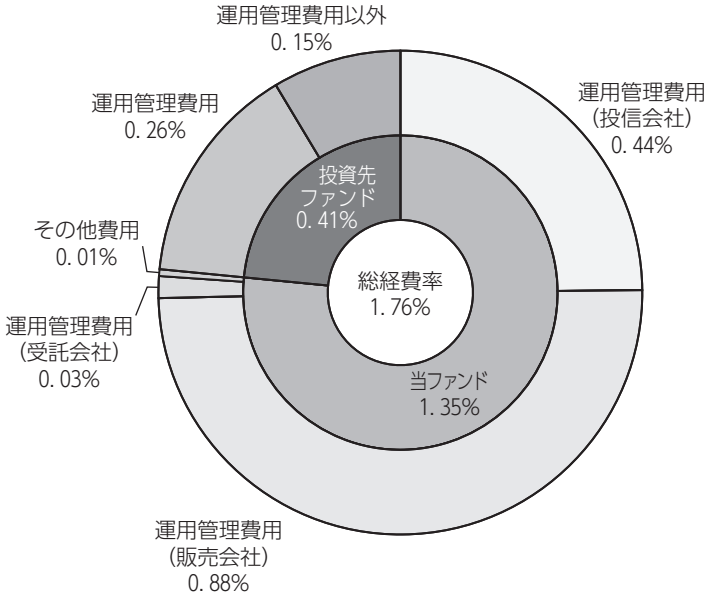
項　　目	第126期～第131期 (2022. 3. 8～2022. 9. 7)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	43円	0. 678%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は6, 375円です。**
（投 信 会 社）	(14)	(0. 221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(28)	(0. 443)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	43	0. 682	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、支払利息を含みません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2022年３月８日から2022年９月７日まで）

決　算　期	第　126　期　～　第　131　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	337.67543	25,747	586.74751	46,600

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2022年３月８日から2022年９月７日まで）

第　126　期　～　第　131　期							
買　付				売　付			
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS（ケイマン諸島）	138.54048	10,700	77	CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS（ケイマン諸島）	586.74751	46,600	79

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　131　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	3,984.40258	281,581	97.4

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　　類	第125期末	第　131　期　末	
	口　数	口　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	132	132	134

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年９月７日現在

項　　目	第　131　期　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
投資信託受益証券	281,581	96.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	134	0.0
コール・ローン等、その他	9,297	3.2
投資信託財産総額	291,013	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2022年４月７日）、（2022年５月９日）、（2022年６月７日）、（2022年７月７日）、（2022年８月８日）、（2022年９月７日）現在

項　　目	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末	第131期末
（A）資産	**336, 259, 728円**	**325, 641, 696円**	**335, 736, 426円**	**283, 136, 041円**	**302, 878, 299円**	**291, 013, 846円**
コール・ローン等	7, 222, 282	4, 855, 182	3, 266, 879	4, 843, 870	4, 584, 922	9, 297, 185
投資信託受益証券（評価額）	328, 902, 486	320, 651, 554	312, 734, 587	278, 157, 211	298, 158, 417	281, 581, 714
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	134, 960	134, 960	134, 960	134, 960	134, 960	134, 947
未収入金	—	—	19, 600, 000	—	—	—
（B）負債	**2, 129, 842**	**2, 118, 392**	**11, 866, 053**	**2, 041, 019**	**2, 078, 372**	**2, 061, 245**
未払金	—	—	9, 800, 000	—	—	—
未払収益分配金	1, 726, 745	1, 717, 687	1, 720, 477	1, 706, 324	1, 716, 013	1, 710, 973
未払解約金	12, 227	—	—	115	5, 548	—
未払信託報酬	388, 505	395, 934	338, 743	325, 766	345, 894	337, 304
その他未払費用	2, 365	4, 771	6, 833	8, 814	10, 917	12, 968
（C）純資産総額（A－B）	**334, 129, 886**	**323, 523, 304**	**323, 870, 373**	**281, 095, 022**	**300, 799, 927**	**288, 952, 601**
元本	493, 355, 958	490, 767, 796	491, 564, 860	487, 521, 161	490, 289, 432	488, 849, 601
次期繰越損益金	△ 159, 226, 072	△ 167, 244, 492	△ 167, 694, 487	△ 206, 426, 139	△ 189, 489, 505	△ 199, 897, 000
（D）受益権総口数	**493, 355, 958口**	**490, 767, 796口**	**491, 564, 860口**	**487, 521, 161口**	**490, 289, 432口**	**488, 849, 601口**
１万口当り基準価額（C／D）	**6, 773円**	**6, 592円**	**6, 589円**	**5, 766円**	**6, 135円**	**5, 911円**

＊当作成期首における元本額は515, 771, 163円、当作成期間（第126期～第131期）中における追加設定元本額は15, 359, 966円、同解約元本額は42, 281, 528円です。
＊第131期末の計算口数当りの純資産額は5, 911円です。
＊第131期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は199, 897, 000円です。

■損益の状況

第126期　自 2022年３月８日　至 2022年４月７日
第127期　自 2022年４月８日　至 2022年５月９日
第128期　自 2022年５月10日　至 2022年６月７日
第129期　自 2022年６月８日　至 2022年７月７日
第130期　自 2022年７月８日　至 2022年８月８日
第131期　自 2022年８月９日　至 2022年９月７日

項　　目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
（A）配当等収益	**2, 807, 073円**	**2, 686, 869円**	**2, 716, 871円**	**2, 669, 231円**	**2, 124, 589円**	**1, 983, 989円**
受取配当金	2, 807, 080	2, 686, 915	2, 716, 907	2, 669, 366	2, 124, 606	1, 984, 010
支払利息	△ 7	△ 46	△ 36	△ 135	△ 17	△ 21
（B）有価証券売買損益	**8, 803, 687**	**△ 9, 369, 117**	**△ 833, 874**	**△ 40, 729, 768**	**17, 839, 596**	**△ 10, 897, 891**
売買益	9, 038, 116	142, 100	—	625	17, 862, 715	1
売買損	△ 234, 429	△ 9, 511, 217	△ 833, 874	△ 40, 730, 393	△ 23, 119	△ 10, 897, 892
（C）信託報酬等	**△ 390, 870**	**△ 398, 340**	**△ 340, 805**	**△ 327, 747**	**△ 347, 997**	**△ 339, 355**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**11, 219, 890**	**△ 7, 080, 588**	**1, 542, 192**	**△ 38, 388, 284**	**19, 616, 188**	**△ 9, 253, 257**
（E）前期繰越損益金	**△ 50, 204, 882**	**△ 40, 034, 932**	**△ 48, 833, 207**	**△ 48, 510, 676**	**△ 87, 992, 916**	**△ 69, 761, 263**
（F）追加信託差損益金	**△ 118, 514, 335**	**△ 118, 411, 285**	**△ 118, 682, 995**	**△ 117, 820, 855**	**△ 119, 396, 764**	**△ 119, 171, 507**
（配当等相当額）	(10, 994, 621)	(11, 139, 443)	(11, 183, 826)	(11, 125, 859)	(11, 423, 712)	(11, 421, 292)
（売買損益相当額）	(△ 129, 508, 956)	(△ 129, 550, 728)	(△ 129, 866, 821)	(△ 128, 946, 714)	(△ 130, 820, 476)	(△ 130, 592, 799)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 157, 499, 327**	**△ 165, 526, 805**	**△ 165, 974, 010**	**△ 204, 719, 815**	**△ 187, 773, 492**	**△ 198, 186, 027**
（H）収益分配金	**△ 1, 726, 745**	**△ 1, 717, 687**	**△ 1, 720, 477**	**△ 1, 706, 324**	**△ 1, 716, 013**	**△ 1, 710, 973**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 159, 226, 072**	**△ 167, 244, 492**	**△ 167, 694, 487**	**△ 206, 426, 139**	**△ 189, 489, 505**	**△ 199, 897, 000**
追加信託差損益金	△ 118, 514, 335	△ 118, 411, 285	△ 118, 682, 995	△ 117, 820, 855	△ 119, 396, 764	△ 119, 171, 507
（配当等相当額）	(10, 994, 621)	(11, 139, 443)	(11, 183, 826)	(11, 125, 859)	(11, 423, 712)	(11, 421, 292)
（売買損益相当額）	(△ 129, 508, 956)	(△ 129, 550, 728)	(△ 129, 866, 821)	(△ 128, 946, 714)	(△ 130, 820, 476)	(△ 130, 592, 799)
分配準備積立金	15, 588, 184	15, 899, 884	16, 555, 473	17, 021, 463	17, 275, 373	17, 127, 336
繰越損益金	△ 56, 299, 921	△ 64, 733, 091	△ 65, 566, 965	△ 105, 626, 747	△ 87, 368, 114	△ 97, 852, 829

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
(a) 経費控除後の配当等収益	2, 712, 561円	2, 288, 529円	2, 376, 066円	2, 341, 483円	2, 087, 562円	1, 644, 634円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	10, 994, 621	11, 139, 443	11, 183, 826	11, 125, 859	11, 423, 712	11, 421, 292
(d) 分配準備積立金	14, 602, 368	15, 329, 042	15, 899, 884	16, 386, 304	16, 903, 824	17, 193, 675
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	28, 309, 550	28, 757, 014	29, 459, 776	29, 853, 646	30, 415, 098	30, 259, 601
(f) 分配金	1, 726, 745	1, 717, 687	1, 720, 477	1, 706, 324	1, 716, 013	1, 710, 973
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	26, 582, 805	27, 039, 327	27, 739, 299	28, 147, 322	28, 699, 085	28, 548, 628
(h) 受益権総口数	493, 355, 958口	490, 767, 796口	491, 564, 860口	487, 521, 161口	490, 289, 432口	488, 849, 601口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金（税込み）	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
	35円	35円	35円	35円	35円	35円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

Ｓ＆Ｐ500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ®、Ｓ＆Ｐ500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「Ｓ＆Ｐ」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）は、SPDJI、Dow Jones、Ｓ＆Ｐ、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Ｓ＆Ｐ500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

豪ドル・コース（毎月分配型）

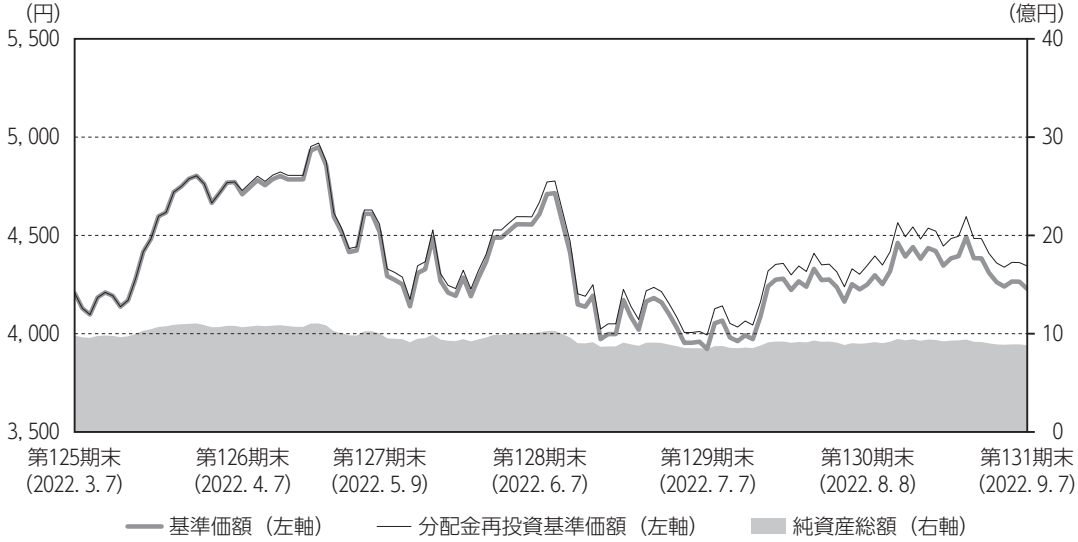
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
102期末（2020年4月7日）	2,596	30	△18.7	22,830	△10.4	66.59	△ 1.3	—	99.2	957
103期末（2020年5月7日）	2,798	30	8.9	24,413	6.9	68.00	2.1	—	98.1	1,031
104期末（2020年6月8日）	3,350	30	20.8	27,374	12.1	76.45	12.4	—	99.1	1,238
105期末（2020年7月7日）	3,245	30	△ 2.2	27,253	△ 0.4	74.99	△ 1.9	—	99.4	1,197
106期末（2020年8月7日）	3,346	30	4.0	28,705	5.3	76.36	1.8	—	98.1	1,228
107期末（2020年9月7日）	3,357	30	1.2	29,372	2.3	77.50	1.5	—	99.6	1,227
108期末（2020年10月7日）	3,279	30	△ 1.4	28,806	△ 1.9	75.06	△ 3.1	—	99.1	1,194
109期末（2020年11月9日）	3,271	30	0.7	30,079	4.4	75.15	0.1	—	99.1	1,150
110期末（2020年12月7日）	3,551	30	9.5	31,704	5.4	77.33	2.9	—	99.2	1,235
111期末（2021年1月7日）	3,697	20	4.7	32,124	1.3	80.27	3.8	—	99.0	1,213
112期末（2021年2月8日）	3,763	20	2.3	33,313	3.7	80.95	0.8	—	98.9	1,200
113期末（2021年3月8日）	3,874	20	3.5	32,928	△ 1.2	83.57	3.2	—	99.4	1,188
114期末（2021年4月7日）	4,115	20	6.7	34,917	6.0	84.17	0.7	—	98.0	1,220
115期末（2021年5月7日）	4,206	20	2.7	36,011	3.1	84.90	0.9	—	98.8	1,220
116期末（2021年6月7日）	4,193	20	0.2	36,253	0.7	84.77	△ 0.2	—	98.1	1,186
117期末（2021年7月7日）	4,109	20	△ 1.5	37,227	2.7	82.73	△ 2.4	—	99.7	1,122
118期末（2021年8月10日）	4,055	20	△ 0.8	37,989	2.0	80.93	△ 2.2	—	98.0	1,091
119期末（2021年9月7日）	4,135	20	2.5	38,872	2.3	81.80	1.1	—	98.9	1,088
120期末（2021年10月7日）	3,874	20	△ 5.8	37,399	△ 3.8	81.15	△ 0.8	—	98.8	976
121期末（2021年11月8日）	4,134	20	7.2	40,261	7.7	84.00	3.5	—	99.6	1,018
122期末（2021年12月7日）	3,881	20	△ 5.6	39,354	△ 2.3	79.95	△ 4.8	—	99.6	943
123期末（2022年1月7日）	4,218	20	9.2	40,249	2.3	83.08	3.9	—	98.1	1,006
124期末（2022年2月7日）	4,043	20	△ 3.7	38,573	△ 4.2	81.50	△ 1.9	—	97.8	949
125期末（2022年3月7日）	4,207	20	4.6	37,102	△ 3.8	85.01	4.3	—	99.1	981
126期末（2022年4月7日）	4,709	20	12.4	38,407	3.5	92.82	9.2	—	97.5	1,064
127期末（2022年5月9日）	4,518	20	△ 3.6	35,340	△ 8.0	91.70	△ 1.2	—	98.6	1,003
128期末（2022年6月7日）	4,608	20	2.4	35,324	△ 0.0	94.96	3.6	—	97.6	1,013
129期末（2022年7月7日）	3,922	20	△14.5	32,955	△ 6.7	92.19	△ 2.9	—	97.4	845
130期末（2022年8月8日）	4,250	20	8.9	35,527	7.8	93.51	1.4	—	98.0	902
131期末（2022年9月7日）	4,227	20	△ 0.1	33,496	△ 5.7	96.09	2.8	—	97.5	883

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、S＆P500指数（米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注5）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注6）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注7）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第126期首：4,207円
第131期末：4,227円（既払分配金120円）
騰　落　率：3.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資したクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）については、米国株式市況の下落はマイナス要因となったものの、豪ドルが対円で上昇（円安）したことやオプション取引戦略がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		S&P500指数（米ドルベース）		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
第126期	（期首）2022年3月7日	4,207	—	37,102	—	85.01	—	—	99.1
	3月末	4,762	13.2	39,446	6.3	92.00	8.2	—	98.8
	（期末）2022年4月7日	4,729	12.4	38,407	3.5	92.82	9.2	—	97.5
第127期	（期首）2022年4月7日	4,709	—	38,407	—	92.82	—	—	97.5
	4月末	4,423	△ 6.1	35,860	△ 6.6	91.70	△ 1.2	—	97.0
	（期末）2022年5月9日	4,538	△ 3.6	35,340	△ 8.0	91.70	△ 1.2	—	98.6
第128期	（期首）2022年5月9日	4,518	—	35,340	—	91.70	—	—	98.6
	5月末	4,489	△ 0.6	35,639	0.8	91.95	0.3	—	99.5
	（期末）2022年6月7日	4,628	2.4	35,324	△ 0.0	94.96	3.6	—	97.6
第129期	（期首）2022年6月7日	4,608	—	35,324	—	94.96	—	—	97.6
	6月末	4,099	△11.0	32,730	△ 7.3	93.90	△ 1.1	—	98.9
	（期末）2022年7月7日	3,942	△14.5	32,955	△ 6.7	92.19	△ 2.9	—	97.4
第130期	（期首）2022年7月7日	3,922	—	32,955	—	92.19	—	—	97.4
	7月末	4,273	8.9	34,904	5.9	94.20	2.2	—	98.9
	（期末）2022年8月8日	4,270	8.9	35,527	7.8	93.51	1.4	—	98.0
第131期	（期首）2022年8月8日	4,250	—	35,527	—	93.51	—	—	98.0
	8月末	4,309	1.4	34,164	△ 3.8	95.14	1.7	—	99.7
	（期末）2022年9月7日	4,247	△ 0.1	33,496	△ 5.7	96.09	2.8	—	97.5

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 3. 8 ～ 2022. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首より、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げ決定を受けて上昇してスタートしました。2022年４月から６月にかけては、インフレ率の予想以上の上昇を受けてＦＲＢが利上げを加速するとの思惑が強まり、景気の先行き懸念が台頭したことで、株価は下落しました。その後は、資源価格の上昇一服でインフレ懸念が後退し、将来的な利下げ転換期待なども生じたことで８月半ばにかけて上昇しましたが、ＦＲＢ高官の金融引き締めに積極的な発言などを受け、当作成期末にかけて株価は反落しました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

豪ドル対円為替相場は、ロシアのウクライナ侵攻により、原油価格が急騰したこと、ＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）の金融引き締め姿勢の強まりから内外金利差の拡大が意識されたことなどを背景に、上昇しました。

■短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、ＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）が政策金利を0. 10％から2. 35％に段階的に引き上げました。一方、米国の短期金利は、政策金利であるＦＦレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標レンジが0. 00～0. 25％から2. 25～2. 50％に段階的に引き上げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■**クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）**

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■**ダイワ・マネー・マザーファンド**

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2022. 3. 8 ～ 2022. 9. 7）

■**当ファンド**

当ファンドは、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■**クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）**

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行いました。

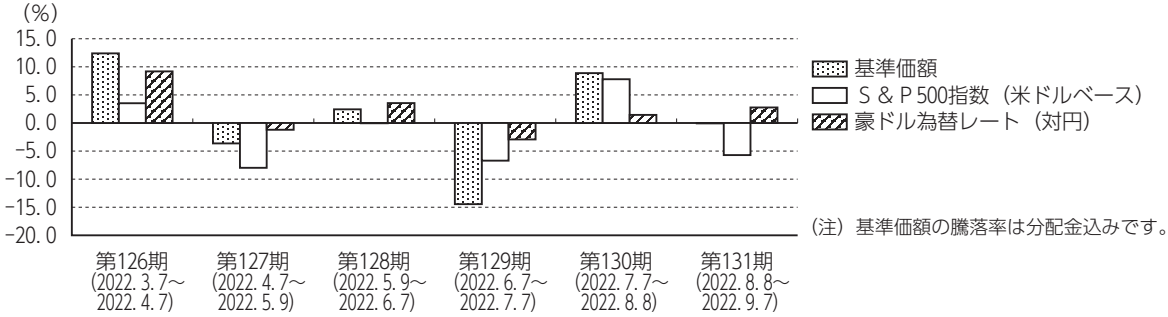
■**ダイワ・マネー・マザーファンド**

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
	2022年３月８日～2022年４月７日	2022年４月８日～2022年５月９日	2022年５月10日～2022年６月７日	2022年６月８日～2022年７月７日	2022年７月８日～2022年８月８日	2022年８月９日～2022年９月７日
当期分配金（税込み）（円）	**20**	**20**	**20**	**20**	**20**	**20**
対基準価額比率（%）	0.42	0.44	0.43	0.51	0.47	0.47
当期の収益（円）	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	388	400	417	431	444	453

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
（a）経費控除後の配当等収益	✓ 36.17円	✓ 31.44円	✓ 37.42円	✓ 33.82円	✓ 32.93円	✓ 29.20円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（c）収益調整金	197.62	198.05	198.30	198.45	198.70	198.90
（d）分配準備積立金	175.05	190.80	202.01	219.29	232.87	245.62
（e）当期分配対象額（a+b+c+d）	408.85	420.30	437.75	451.58	464.52	473.73
（f）分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	388.85	400.30	417.75	431.58	444.52	453.73

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

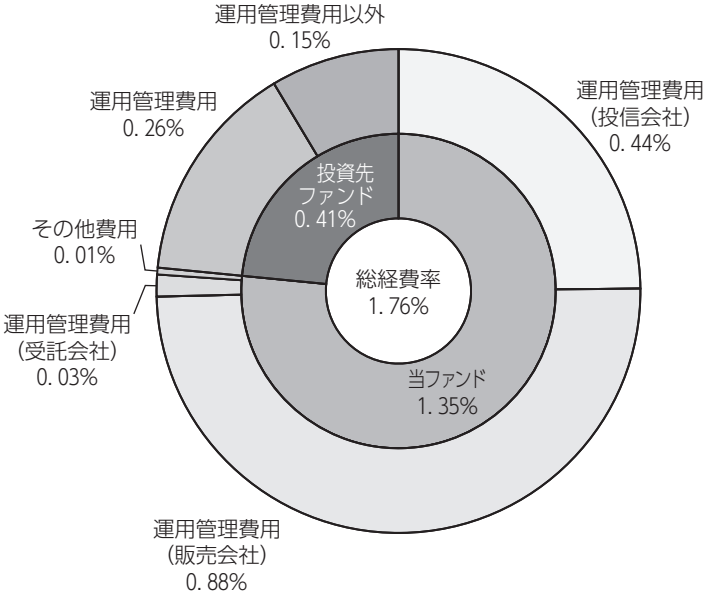
項　　目	第126期～第131期 (2022. 3. 8～2022. 9. 7)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	30円	0. 677%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は4, 375円です。**
（投 信 会 社）	(10)	(0. 221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(19)	(0. 443)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	30	0. 681	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、支払利息を含みません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2022年３月８日から2022年９月７日まで）

決　算　期	第　126　期　～　第　131　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	853.3619	67,879	2,152.31884	174,100

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2022年３月８日から2022年９月７日まで）

第　126　期　～　第　131　期							
買　　付				売　　付			
銘　　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS（ケイマン諸島）	248.39711	19,700	79	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS（ケイマン諸島）	2,152.31884	174,100	80

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　131　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券（ケイマン諸島）CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	11,103.07116	861,775	97.5

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　　類	第125期末	第　131　期　末	
	口　数	口　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	52	52	53

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年９月７日現在

項　　目	第　131　期　末	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
投資信託受益証券	861,775	96.9
ダイワ・マネー・マザーファンド	53	0.0
コール・ローン等、その他	27,399	3.1
投資信託財産総額	889,229	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2022年４月７日）、（2022年５月９日）、（2022年６月７日）、（2022年７月７日）、（2022年８月８日）、（2022年９月７日）現在

項　　目	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末	第131期末
（A）資産	**1,072,794,176円**	**1,019,645,910円**	**1,018,850,898円**	**852,267,848円**	**908,174,550円**	**889,229,769円**
コール・ローン等	34,056,402	30,338,701	29,810,453	29,083,210	23,586,706	27,399,937
投資信託受益証券（評価額）	1,038,683,908	989,253,343	988,986,579	823,130,772	884,533,978	861,775,971
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	53,866	53,866	53,866	53,866	53,866	53,861
（B）負債	**7,963,594**	**16,106,519**	**5,445,609**	**7,183,182**	**5,336,893**	**5,324,192**
未払金	—	10,400,000	—	—	—	—
未払収益分配金	4,522,562	4,442,649	4,398,237	4,309,316	4,248,914	4,182,182
未払解約金	2,247,573	10,430	—	1,839,010	1,269	84,880
未払信託報酬	1,186,215	1,238,628	1,026,290	1,007,622	1,053,045	1,017,251
その他未払費用	7,244	14,812	21,082	27,234	33,665	39,879
（C）純資産総額（A－B）	**1,064,830,582**	**1,003,539,391**	**1,013,405,289**	**845,084,666**	**902,837,657**	**883,905,577**
元本	2,261,281,047	2,221,324,539	2,199,118,694	2,154,658,280	2,124,457,067	2,091,091,278
次期繰越損益金	△ 1,196,450,465	△ 1,217,785,148	△ 1,185,713,405	△ 1,309,573,614	△ 1,221,619,410	△ 1,207,185,701
（D）受益権総口数	**2,261,281,047口**	**2,221,324,539口**	**2,199,118,694口**	**2,154,658,280口**	**2,124,457,067口**	**2,091,091,278口**
１万口当り基準価額（C／D）	**4,709円**	**4,518円**	**4,608円**	**3,922円**	**4,250円**	**4,227円**

＊当作成期首における元本額は2,333,205,811円、当作成期間（第126期～第131期）中における追加設定元本額は16,309,068円、同解約元本額は258,423,601円です。
＊第131期末の計算口数当りの純資産額は4,227円です。
＊第131期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,207,185,701円です。

■損益の状況

第126期　自 2022年３月８日　至 2022年４月７日
第127期　自 2022年４月８日　至 2022年５月９日
第128期　自 2022年５月10日　至 2022年６月７日
第129期　自 2022年６月８日　至 2022年７月７日
第130期　自 2022年７月８日　至 2022年８月８日
第131期　自 2022年８月９日　至 2022年９月７日

項　　目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
（A）配当等収益	**8,262,606円**	**8,230,496円**	**8,580,467円**	**8,301,541円**	**7,097,419円**	**7,129,839円**
受取配当金	8,262,653	8,230,660	8,580,566	8,302,003	7,097,517	7,130,067
受取利息	—	—	—	1	—	—
支払利息	△ 47	△ 164	△ 99	△ 463	△ 98	△ 228
（B）有価証券売買損益	**110,978,558**	**△ 45,021,981**	**16,774,606**	**△ 150,797,143**	**67,787,792**	**△ 6,679,419**
売買益	114,070,206	224,033	16,903,083	1,443,466	68,522,174	467
売買損	△ 3,091,648	△ 45,246,014	△ 128,477	△ 152,240,609	△ 734,382	△ 6,679,886
（C）信託報酬等	**△ 1,193,459**	**△ 1,246,196**	**△ 1,032,560**	**△ 1,013,774**	**△ 1,059,476**	**△ 1,023,465**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**118,047,705**	**△ 38,037,681**	**24,322,513**	**△ 143,509,376**	**73,825,735**	**△ 573,045**
（E）前期繰越損益金	**△ 671,071,782**	**△ 546,488,564**	**△ 582,413,094**	**△ 550,743,260**	**△ 688,056,496**	**△ 608,297,999**
（F）追加信託差損益金	**△ 638,903,826**	**△ 628,816,254**	**△ 623,224,587**	**△ 611,011,662**	**△ 603,139,735**	**△ 594,132,475**
（配当等相当額）	(44,688,347)	(43,995,131)	(43,609,852)	(42,761,060)	(42,214,909)	(41,592,351)
（売買損益相当額）	(△ 683,592,173)	(△ 672,811,385)	(△ 666,834,439)	(△ 653,772,722)	(△ 645,354,644)	(△ 635,724,826)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 1,191,927,903**	**△ 1,213,342,499**	**△ 1,181,315,168**	**△ 1,305,264,298**	**△ 1,217,370,496**	**△ 1,203,003,519**
（H）収益分配金	**△ 4,522,562**	**△ 4,442,649**	**△ 4,398,237**	**△ 4,309,316**	**△ 4,248,914**	**△ 4,182,182**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 1,196,450,465**	**△ 1,217,785,148**	**△ 1,185,713,405**	**△ 1,309,573,614**	**△ 1,221,619,410**	**△ 1,207,185,701**
追加信託差損益金	△ 638,903,826	△ 628,816,254	△ 623,224,587	△ 611,011,662	△ 603,139,735	△ 594,132,475
（配当等相当額）	(44,688,347)	(43,995,131)	(43,609,852)	(42,761,060)	(42,214,909)	(41,592,351)
（売買損益相当額）	(△ 683,592,173)	(△ 672,811,385)	(△ 666,834,439)	(△ 653,772,722)	(△ 645,354,644)	(△ 635,724,826)
分配準備積立金	43,242,246	44,926,256	48,258,993	50,229,730	52,222,408	53,286,894
繰越損益金	△ 600,788,885	△ 633,895,150	△ 610,747,811	△ 748,791,682	△ 670,702,083	△ 666,340,120

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
(a) 経費控除後の配当等収益	8, 179, 899円	6, 984, 300円	8, 231, 049円	7, 287, 767円	6, 996, 981円	6, 106, 374円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	44, 688, 347	43, 995, 131	43, 609, 852	42, 761, 060	42, 214, 909	41, 592, 351
(d) 分配準備積立金	39, 584, 909	42, 384, 605	44, 426, 181	47, 251, 279	49, 474, 341	51, 362, 702
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	92, 453, 155	93, 364, 036	96, 267, 082	97, 300, 106	98, 686, 231	99, 061, 427
(f) 分配金	4, 522, 562	4, 442, 649	4, 398, 237	4, 309, 316	4, 248, 914	4, 182, 182
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	87, 930, 593	88, 921, 387	91, 868, 845	92, 990, 790	94, 437, 317	94, 879, 245
(h) 受益権総口数	2, 261, 281, 047口	2, 221, 324, 539口	2, 199, 118, 694口	2, 154, 658, 280口	2, 124, 457, 067口	2, 091, 091, 278口

収益分配金のお知らせ						
1万口当り分配金(税込み)	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
	20円	20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

Ｓ＆Ｐ500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ®、Ｓ＆Ｐ500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「Ｓ＆Ｐ」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）は、SPDJI、Dow Jones、Ｓ＆Ｐ、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Ｓ＆Ｐ500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）

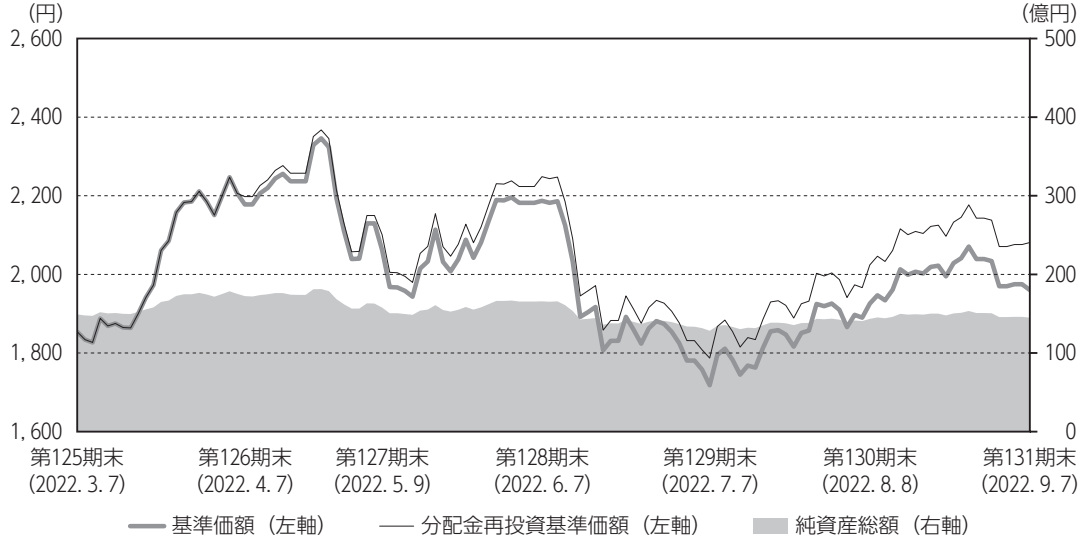
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
102期末（2020年4月7日）	1,428	30	△ 22.7	22,830	△ 10.4	20.65	△ 6.3	—	98.7	16,512
103期末（2020年5月7日）	1,392	30	△ 0.4	24,413	6.9	18.59	△ 10.0	—	98.5	16,092
104期末（2020年6月8日）	1,690	30	23.6	27,374	12.1	22.07	18.7	—	98.7	19,360
105期末（2020年7月7日）	1,524	20	△ 8.6	27,253	△ 0.4	20.04	△ 9.2	—	98.8	17,338
106期末（2020年8月7日）	1,505	20	0.1	28,705	5.3	19.80	△ 1.2	—	98.0	16,786
107期末（2020年9月7日）	1,518	20	2.2	29,372	2.3	20.06	1.3	—	98.4	16,676
108期末（2020年10月7日）	1,438	20	△ 4.0	28,806	△ 1.9	18.89	△ 5.8	—	98.3	15,641
109期末（2020年11月9日）	1,406	20	△ 0.8	30,079	4.4	19.22	1.7	—	98.2	15,071
110期末（2020年12月7日）	1,578	20	13.7	31,704	5.4	20.29	5.6	—	98.2	16,680
111期末（2021年1月7日）	1,526	20	△ 2.0	32,124	1.3	19.42	△ 4.3	—	98.1	15,604
112期末（2021年2月8日）	1,563	20	3.7	33,313	3.7	19.62	1.0	—	98.1	15,815
113期末（2021年3月8日）	1,510	20	△ 2.1	32,928	△ 1.2	19.06	△ 2.9	—	98.1	15,101
114期末（2021年4月7日）	1,626	20	9.0	34,917	6.0	19.6377	3.0	—	94.7	16,094
115期末（2021年5月7日）	1,739	20	8.2	36,011	3.1	20.6658	5.2	—	98.2	16,396
116期末（2021年6月7日）	1,797	20	4.5	36,253	0.7	21.6965	5.0	—	98.3	16,648
117期末（2021年7月7日）	1,766	20	△ 0.6	37,227	2.7	21.2416	△ 2.1	—	98.0	16,134
118期末（2021年8月10日）	1,755	20	0.5	37,989	2.0	21.0762	△ 0.8	—	98.2	15,804
119期末（2021年9月7日）	1,786	20	2.9	38,872	2.3	21.2321	0.7	—	98.6	15,834
120期末（2021年10月7日）	1,607	20	△ 8.9	37,399	△ 3.8	20.2736	△ 4.5	—	99.4	14,057
121期末（2021年11月8日）	1,664	20	4.8	40,261	7.7	20.4947	1.1	—	98.3	14,336
122期末（2021年12月7日）	1,600	20	△ 2.6	39,354	△ 2.3	19.9578	△ 2.6	—	99.5	13,542
123期末（2022年1月7日）	1,710	20	8.1	40,249	2.3	20.3891	2.2	—	99.5	14,141
124期末（2022年2月7日）	1,767	20	4.5	38,573	△ 4.2	21.6350	6.1	—	98.0	14,309
125期末（2022年3月7日）	1,854	20	6.1	37,102	△ 3.8	22.7004	4.9	—	97.6	14,908
126期末（2022年4月7日）	2,178	20	18.6	38,407	3.5	26.2122	15.5	—	98.0	17,231
127期末（2022年5月9日）	2,062	20	△ 4.4	35,340	△ 8.0	25.7450	△ 1.8	—	99.4	15,779
128期末（2022年6月7日）	2,187	20	7.0	35,324	△ 0.0	27.5786	7.1	—	99.2	16,573
129期末（2022年7月7日）	1,718	20	△ 20.5	32,955	△ 6.7	25.0212	△ 9.3	—	99.2	12,842
130期末（2022年8月8日）	1,926	20	13.3	35,527	7.8	26.1994	4.7	—	97.7	14,331
131期末（2022年9月7日）	1,960	20	2.8	33,496	△ 5.7	27.2452	4.0	—	99.5	14,486

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、S＆P500指数（米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
（注5）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注6）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注7）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第126期首：1,854円
第131期末：1,960円（既払分配金120円）
騰　落　率：12.2%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資したクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）については、米国株式市況の下落はマイナス要因となったものの、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）やブラジル・レアルが対円で上昇（円安）したこと、オプション取引戦略がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）：オージェンタム・トラスト－クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		S&P500指数（米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	円	%	%	%
第126期	（期首）2022年3月7日	1,854	—	37,102	—	22.7004	—	—	97.6
	3月末	2,185	17.9	39,446	6.3	25.6481	13.0	—	98.7
	（期末）2022年4月7日	2,198	18.6	38,407	3.5	26.2122	15.5	—	98.0
第127期	（期首）2022年4月7日	2,178	—	38,407	—	26.2122	—	—	98.0
	4月末	2,040	△ 6.3	35,860	△ 6.6	26.6002	1.5	—	98.2
	（期末）2022年5月9日	2,082	△ 4.4	35,340	△ 8.0	25.7450	△ 1.8	—	99.4
第128期	（期首）2022年5月9日	2,062	—	35,340	—	25.7450	—	—	99.4
	5月末	2,188	6.1	35,639	0.8	26.9677	4.7	—	98.1
	（期末）2022年6月7日	2,207	7.0	35,324	△ 0.0	27.5786	7.1	—	99.2
第129期	（期首）2022年6月7日	2,187	—	35,324	—	27.5786	—	—	99.2
	6月末	1,854	△ 15.2	32,730	△ 7.3	26.3594	△ 4.4	—	97.8
	（期末）2022年7月7日	1,738	△ 20.5	32,955	△ 6.7	25.0212	△ 9.3	—	99.2
第130期	（期首）2022年7月7日	1,718	—	32,955	—	25.0212	—	—	99.2
	7月末	1,919	11.7	34,904	5.9	25.9481	3.7	—	99.7
	（期末）2022年8月8日	1,946	13.3	35,527	7.8	26.1994	4.7	—	97.7
第131期	（期首）2022年8月8日	1,926	—	35,527	—	26.1994	—	—	97.7
	8月末	2,034	5.6	34,164	△ 3.8	27.0548	3.3	—	98.4
	（期末）2022年9月7日	1,980	2.8	33,496	△ 5.7	27.2452	4.0	—	99.5

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 3. 8 ～ 2022. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首より、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げ決定を受けて上昇してスタートしました。2022年４月から６月にかけては、インフレ率の予想以上の上昇を受けてＦＲＢが利上げを加速するとの思惑が強まり、景気の先行き懸念が台頭したことで、株価は下落しました。その後は、資源価格の上昇一服でインフレ懸念が後退し、将来的な利下げ転換期待なども生じたことで８月半ばにかけて上昇しましたが、ＦＲＢ高官の金融引き締めに積極的な発言などを受け、当作成期末にかけて株価は反落しました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

ブラジルで利上げが複数回実施され、高金利通貨としての魅力が高まったことなどから、ブラジル・レアルは対円で上昇しました。また、米国金利の上昇を受けて米ドル買い／円売りの動きが加速し円安傾向となったことも、対円での上昇要因となりました。

■短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を10. 75％から13. 75％に段階的に引上げました。一方、米国の短期金利は、政策金利であるＦＦレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標レンジが0. 00～0. 25％から2. 25～2. 50％に段階的に引き上げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2022. 3. 8 ～ 2022. 9. 7）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行いました。

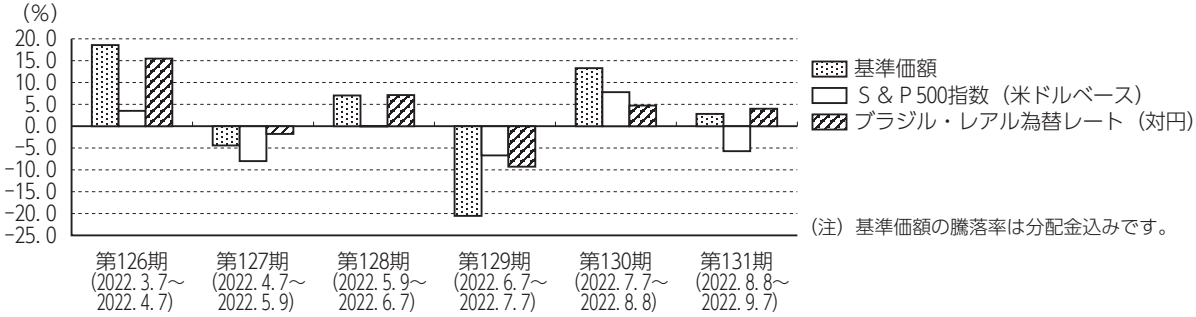
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目	第126期 2022年３月８日 ～2022年４月７日	第127期 2022年４月８日 ～2022年５月９日	第128期 2022年５月10日 ～2022年６月７日	第129期 2022年６月８日 ～2022年７月７日	第130期 2022年７月８日 ～2022年８月８日	第131期 2022年８月９日 ～2022年９月７日
当期分配金（税込み）（円）	**20**	**20**	**20**	**20**	**20**	**20**
対基準価額比率（%）	0.91	0.96	0.91	1.15	1.03	1.01
当期の収益　（円）	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	1,052	1,064	1,084	1,098	1,109	1,122

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
（a）経費控除後の配当等収益	✓ 30.05円	✓ 32.26円	✓ 39.86円	✓ 34.44円	✓ 30.95円	✓ 32.26円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（c）収益調整金	1,024.78	1,024.83	1,025.09	1,025.21	1,025.41	1,025.63
（d）分配準備積立金	17.43	27.43	39.52	59.28	73.53	84.27
（e）当期分配対象額（a+b+c+d）	1,072.27	1,084.54	1,104.49	1,118.94	1,129.90	1,142.17
（f）分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	1,052.27	1,064.54	1,084.49	1,098.94	1,109.90	1,122.17

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（ブラジル・レアル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

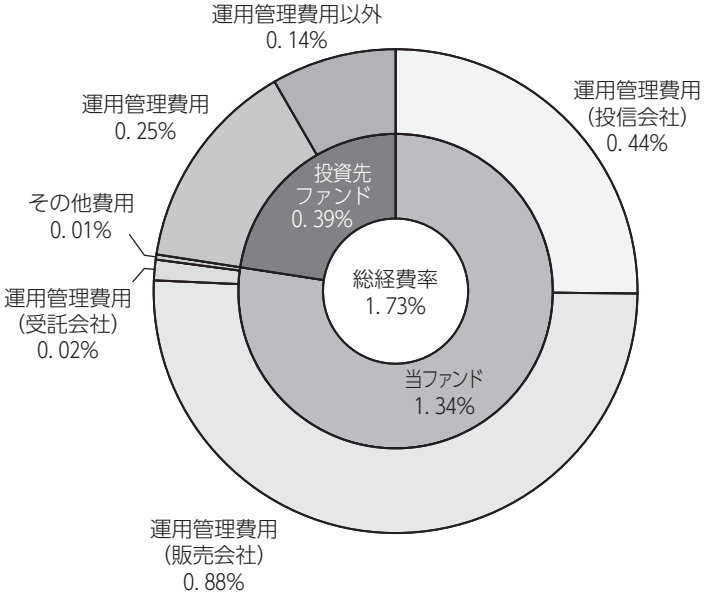
項　目	第126期～第131期 (2022. 3. 8～2022. 9. 7)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	14円	0. 675%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は2, 010円です。**
（投 信 会 社）	(4)	(0. 220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(9)	(0. 442)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0. 012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	14	0. 678	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.73%
①当ファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.25%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、支払利息を含みません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2022年３月８日から2022年９月７日まで）

決　算　期	第　126　期　～　第　131　期			
	買　付		売　付	
	口　数	金　額	口　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	47,786.09993	1,579,908	60,450.91783	2,097,700

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2022年３月８日から2022年９月７日まで）

第　126　期　～　第　131　期							
買　付				売　付			
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS（ケイマン諸島）	60,450.91783	2,097,700	34

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　131　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	445,463.78453	14,417,435	99.5

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　類	第125期末	第　131　期　末	
	口　数	口　数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	467	467	475

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年９月７日現在

項　目	第　131　期　末	
	評価額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	14,417,435	98.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	475	0.0
コール・ローン等、その他	248,048	1.7
投資信託財産総額	14,665,959	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2022年４月７日）、（2022年５月９日）、（2022年６月７日）、（2022年７月７日）、（2022年８月８日）、（2022年９月７日）現在

項　　目	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末	第131期末
（A）資産	**17, 519, 294, 559円**	**15, 976, 730, 624円**	**16, 779, 349, 162円**	**13, 051, 328, 005円**	**14, 515, 872, 450円**	**14, 665, 959, 321円**
コール・ローン等	632, 849, 471	293, 227, 860	339, 944, 893	308, 725, 722	518, 912, 149	248, 048, 910
投資信託受益証券（評価額）	16, 885, 970, 016	15, 683, 027, 692	16, 438, 929, 197	12, 742, 127, 211	13, 996, 485, 229	14, 417, 435, 386
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	475, 072	475, 072	475, 072	475, 072	475, 072	475, 025
（B）負債	**287, 902, 513**	**196, 919, 539**	**206, 073, 617**	**209, 063, 491**	**184, 238, 169**	**179, 797, 298**
未払収益分配金	158, 225, 707	153, 071, 053	151, 583, 359	149, 532, 571	148, 825, 404	147, 809, 510
未払解約金	111, 014, 760	23, 633, 710	37, 256, 947	43, 180, 040	18, 675, 417	14, 923, 517
未払信託報酬	18, 548, 498	19, 978, 922	16, 894, 036	15, 914, 187	16, 201, 480	16, 427, 841
その他未払費用	113, 548	235, 854	339, 275	436, 693	535, 868	636, 430
（C）純資産総額（A－B）	**17, 231, 392, 046**	**15, 779, 811, 085**	**16, 573, 275, 545**	**12, 842, 264, 514**	**14, 331, 634, 281**	**14, 486, 162, 023**
元本	79, 112, 853, 980	76, 535, 526, 879	75, 791, 679, 941	74, 766, 285, 933	74, 412, 702, 115	73, 904, 755, 258
次期繰越損益金	△ 61, 881, 461, 934	△ 60, 755, 715, 794	△ 59, 218, 404, 396	△ 61, 924, 021, 419	△ 60, 081, 067, 834	△ 59, 418, 593, 235
（D）受益権総口数	**79, 112, 853, 980口**	**76, 535, 526, 879口**	**75, 791, 679, 941口**	**74, 766, 285, 933口**	**74, 412, 702, 115口**	**73, 904, 755, 258口**
１万口当り基準価額（C／D）	**2, 178円**	**2, 062円**	**2, 187円**	**1, 718円**	**1, 926円**	**1, 960円**

＊当作成期首における元本額は80, 422, 895, 047円、当作成期間（第126期～第131期）中における追加設定元本額は1, 284, 333, 723円、同解約元本額は7, 802, 473, 512円です。
＊第131期末の計算口数当りの純資産額は1, 960円です。
＊第131期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は59, 418, 593, 235円です。

■損益の状況

第126期　自 2022年３月８日　至 2022年４月７日
第127期　自 2022年４月８日　至 2022年５月９日
第128期　自 2022年５月10日　至 2022年６月７日
第129期　自 2022年６月８日　至 2022年７月７日
第130期　自 2022年７月８日　至 2022年８月８日
第131期　自 2022年８月９日　至 2022年９月７日

項　　目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
（A）配当等収益	**239, 400, 004円**	**267, 017, 301円**	**306, 851, 823円**	**273, 551, 628円**	**232, 564, 720円**	**248, 336, 384円**
受取配当金	239, 401, 695	267, 020, 736	306, 856, 448	273, 557, 933	232, 565, 755	248, 342, 524
受取利息	3	5	1	38	—	2
支払利息	△ 1, 694	△ 3, 440	△ 4, 626	△ 6, 343	△ 1, 035	△ 6, 142
（B）有価証券売買損益	**2, 501, 904, 107**	**△ 984, 091, 126**	**807, 049, 204**	**△ 3, 614, 228, 776**	**1, 482, 523, 607**	**168, 181, 993**
売買益	2, 531, 258, 140	29, 098, 206	813, 397, 028	28, 053, 518	1, 486, 731, 395	171, 341, 353
売買損	△ 29, 354, 033	△ 1, 013, 189, 332	△ 6, 347, 824	△ 3, 642, 282, 294	△ 4, 207, 788	△ 3, 159, 360
（C）信託報酬等	**△ 18, 662, 046**	**△ 20, 101, 228**	**△ 16, 997, 457**	**△ 16, 011, 605**	**△ 16, 300, 655**	**△ 16, 528, 403**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**2, 722, 642, 065**	**△ 737, 175, 053**	**1, 096, 903, 570**	**△ 3, 356, 688, 753**	**1, 698, 787, 672**	**399, 989, 974**
（E）前期繰越損益金	**△ 34, 169, 450, 217**	**△ 30, 515, 097, 648**	**△ 30, 964, 536, 775**	**△ 29, 555, 375, 878**	**△ 32, 817, 974, 319**	**△ 30, 974, 998, 444**
（F）追加信託差損益金	**△ 30, 276, 428, 075**	**△ 29, 350, 372, 040**	**△ 29, 199, 187, 832**	**△ 28, 862, 424, 217**	**△ 28, 813, 055, 783**	**△ 28, 695, 775, 255**
（配当等相当額）	(8, 107, 339, 463)	(7, 843, 665, 173)	(7, 769, 359, 058)	(7, 665, 160, 794)	(7, 630, 387, 196)	(7, 579, 952, 063)
（売買損益相当額）	(△ 38, 383, 767, 538)	(△ 37, 194, 037, 213)	(△ 36, 968, 546, 890)	(△ 36, 527, 585, 011)	(△ 36, 443, 442, 979)	(△ 36, 275, 727, 318)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 61, 723, 236, 227**	**△ 60, 602, 644, 741**	**△ 59, 066, 821, 037**	**△ 61, 774, 488, 848**	**△ 59, 932, 242, 430**	**△ 59, 270, 783, 725**
（H）収益分配金	**△ 158, 225, 707**	**△ 153, 071, 053**	**△ 151, 583, 359**	**△ 149, 532, 571**	**△ 148, 825, 404**	**△ 147, 809, 510**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 61, 881, 461, 934**	**△ 60, 755, 715, 794**	**△ 59, 218, 404, 396**	**△ 61, 924, 021, 419**	**△ 60, 081, 067, 834**	**△ 59, 418, 593, 235**
追加信託差損益金	△ 30, 276, 428, 075	△ 29, 350, 372, 040	△ 29, 199, 187, 832	△ 28, 862, 424, 217	△ 28, 813, 055, 783	△ 28, 695, 775, 255
（配当等相当額）	(8, 107, 339, 463)	(7, 843, 665, 173)	(7, 769, 359, 058)	(7, 665, 160, 794)	(7, 630, 387, 196)	(7, 579, 952, 063)
（売買損益相当額）	(△ 38, 383, 767, 538)	(△ 37, 194, 037, 213)	(△ 36, 968, 546, 890)	(△ 36, 527, 585, 011)	(△ 36, 443, 442, 979)	(△ 36, 275, 727, 318)
分配準備積立金	217, 514, 606	303, 858, 382	450, 179, 073	551, 230, 594	628, 697, 654	713, 478, 740
繰越損益金	△ 31, 822, 548, 465	△ 31, 709, 202, 136	△ 30, 469, 395, 637	△ 33, 612, 827, 796	△ 31, 896, 709, 705	△ 31, 436, 296, 720

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
(a) 経費控除後の配当等収益	237,770,807円	246,916,072円	302,169,021円	257,540,015円	230,354,350円	238,482,144円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	8,107,339,463	7,843,665,173	7,769,359,058	7,665,160,794	7,630,387,196	7,579,952,063
(d) 分配準備積立金	137,969,506	210,013,363	299,593,411	443,223,150	547,168,708	622,806,106
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	8,483,079,776	8,300,594,608	8,371,121,490	8,365,923,959	8,407,910,254	8,441,240,313
(f) 分配金	158,225,707	153,071,053	151,583,359	149,532,571	148,825,404	147,809,510
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	8,324,854,069	8,147,523,555	8,219,538,131	8,216,391,388	8,259,084,850	8,293,430,803
(h) 受益権総口数	79,112,853,980口	76,535,526,879口	75,791,679,941口	74,766,285,933口	74,412,702,115口	73,904,755,258口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金(税込み)	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
	20円	20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

Ｓ＆Ｐ500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ®、Ｓ＆Ｐ500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「Ｓ＆Ｐ」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）は、SPDJI、Dow Jones、Ｓ＆Ｐ、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Ｓ＆Ｐ500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

米ドル・コース（毎月分配型）

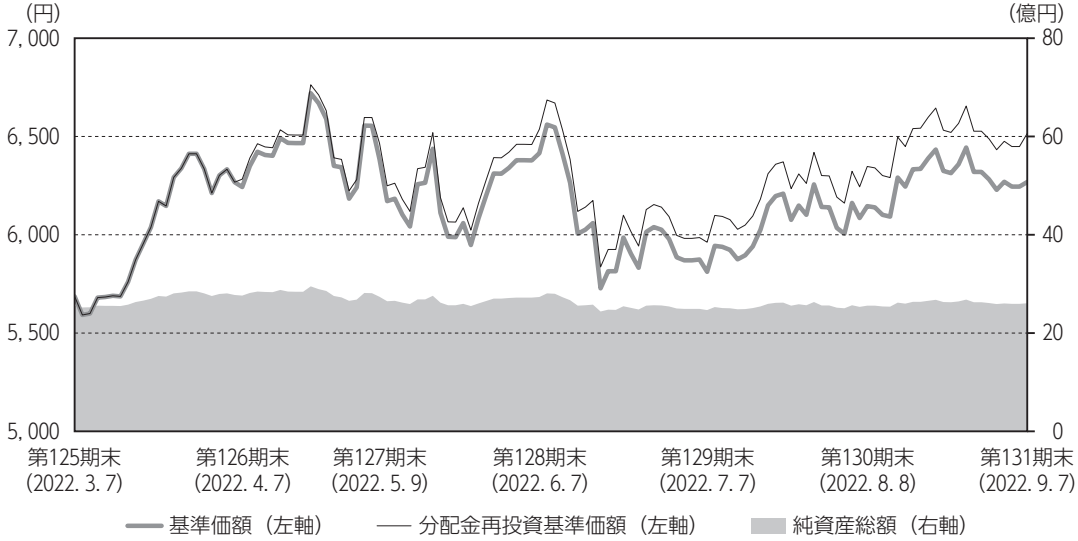
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
102期末（2020年4月7日）	4,237	60	△ 10.4	32,452	△ 4.2	—	99.0	3,723
103期末（2020年5月7日）	4,309	60	3.1	33,803	4.2	—	98.6	3,760
104期末（2020年6月8日）	4,803	60	12.9	39,048	15.5	—	99.3	4,181
105期末（2020年7月7日）	4,632	60	△ 2.3	38,100	△ 2.4	—	98.7	4,072
106期末（2020年8月7日）	4,615	60	0.9	39,491	3.7	—	98.0	4,038
107期末（2020年9月7日）	4,599	60	1.0	40,703	3.1	—	98.2	3,947
108期末（2020年10月7日）	4,529	60	△ 0.2	39,664	△ 2.6	—	98.4	3,697
109期末（2020年11月9日）	4,440	60	△ 0.6	40,503	2.1	—	98.1	3,496
110期末（2020年12月7日）	4,718	60	7.6	42,994	6.1	—	98.3	3,618
111期末（2021年1月7日）	4,721	40	0.9	43,107	0.3	—	99.1	3,413
112期末（2021年2月8日）	4,890	40	4.4	45,809	6.3	—	99.8	3,245
113期末（2021年3月8日）	5,040	40	3.9	46,494	1.5	—	98.4	3,183
114期末（2021年4月7日）	5,386	40	7.7	49,962	7.5	—	98.1	3,242
115期末（2021年5月7日）	5,431	40	1.6	51,213	2.5	—	99.0	3,208
116期末（2021年6月7日）	5,433	40	0.8	51,756	1.1	—	99.7	3,152
117期末（2021年7月7日）	5,488	40	1.7	53,578	3.5	—	98.0	3,068
118期末（2021年8月10日）	5,520	40	1.3	54,624	2.0	—	98.1	3,033
119期末（2021年9月7日）	5,555	40	1.4	55,601	1.8	—	99.0	2,978
120期末（2021年10月7日）	5,317	40	△ 3.6	54,283	△ 2.4	—	99.6	2,803
121期末（2021年11月8日）	5,565	40	5.4	59,602	9.8	—	99.5	2,911
122期末（2021年12月7日）	5,485	40	△ 0.7	58,198	△ 2.4	—	98.8	2,738
123期末（2022年1月7日）	5,872	40	7.8	60,821	4.5	—	98.7	2,846
124期末（2022年2月7日）	5,697	40	△ 2.3	57,927	△ 4.8	—	97.5	2,701
125期末（2022年3月7日）	5,686	40	0.5	55,602	△ 4.0	—	98.6	2,558
126期末（2022年4月7日）	6,243	40	10.5	61,881	11.3	—	98.7	2,761
127期末（2022年5月9日）	6,384	40	2.9	60,219	△ 2.7	—	99.4	2,737
128期末（2022年6月7日）	6,415	40	1.1	60,863	1.1	—	97.6	2,735
129期末（2022年7月7日）	5,811	40	△ 8.8	58,345	△ 4.1	—	97.5	2,467
130期末（2022年8月8日）	6,146	40	6.5	62,649	7.4	—	99.7	2,557
131期末（2022年9月7日）	6,269	40	2.7	62,462	△ 0.3	—	98.2	2,605

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（円換算）は、S＆P500指数（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第126期首：5,686円
第131期末：6,269円（既払分配金240円）
騰　落　率：14.6%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資したクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）については、米国株式市況の下落はマイナス要因となったものの、米ドルが対円で上昇（円安）したことやオプション取引戦略がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）

	年　月　日	基準価額		S&P500指数（円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	%	%
第126期	（期首）2022年3月7日	5,686	—	55,602	—	—	98.6
	3月末	6,335	11.4	62,904	13.1	—	97.9
	（期末）2022年4月7日	6,283	10.5	61,881	11.3	—	98.7
第127期	（期首）2022年4月7日	6,243	—	61,881	—	—	98.7
	4月末	6,241	△ 0.0	60,207	△ 2.7	—	98.5
	（期末）2022年5月9日	6,424	2.9	60,219	△ 2.7	—	99.4
第128期	（期首）2022年5月9日	6,384	—	60,219	—	—	99.4
	5月末	6,311	△ 1.1	59,535	△ 1.1	—	99.6
	（期末）2022年6月7日	6,455	1.1	60,863	1.1	—	97.6
第129期	（期首）2022年6月7日	6,415	—	60,863	—	—	97.6
	6月末	5,979	△ 6.8	58,287	△ 4.2	—	99.0
	（期末）2022年7月7日	5,851	△ 8.8	58,345	△ 4.1	—	97.5
第130期	（期首）2022年7月7日	5,811	—	58,345	—	—	97.5
	7月末	6,141	5.7	61,217	4.9	—	99.4
	（期末）2022年8月8日	6,186	6.5	62,649	7.4	—	99.7
第131期	（期首）2022年8月8日	6,146	—	62,649	—	—	99.7
	8月末	6,282	2.2	61,710	△ 1.5	—	97.5
	（期末）2022年9月7日	6,309	2.7	62,462	△ 0.3	—	98.2

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 3. 8 ～ 2022. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首より、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げ決定を受けて上昇してスタートしました。2022年４月から６月にかけては、インフレ率の予想以上の上昇を受けてＦＲＢが利上げを加速するとの思惑が強まり、景気の先行き懸念が台頭したことで、株価は下落しました。その後は、資源価格の上昇一服でインフレ懸念が後退し、将来的な利下げ転換期待なども生じたことで８月半ばにかけて上昇しましたが、ＦＲＢ高官の金融引き締めに積極的な発言などを受け、当作成期末にかけて株価は反落しました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

2022年３月にＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となったことから、当作成期首より2022年５月初旬にかけて円安米ドル高が大きく進行しました。その後、米国景気への懸念などからリスク回避姿勢が強まったことで米ドルは一時下落しましたが、米国金利の上昇により日米金利差が再度拡大したことなどから、当作成期末にかけて円安米ドル高が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2022. 3. 8 ～ 2022. 9. 7）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

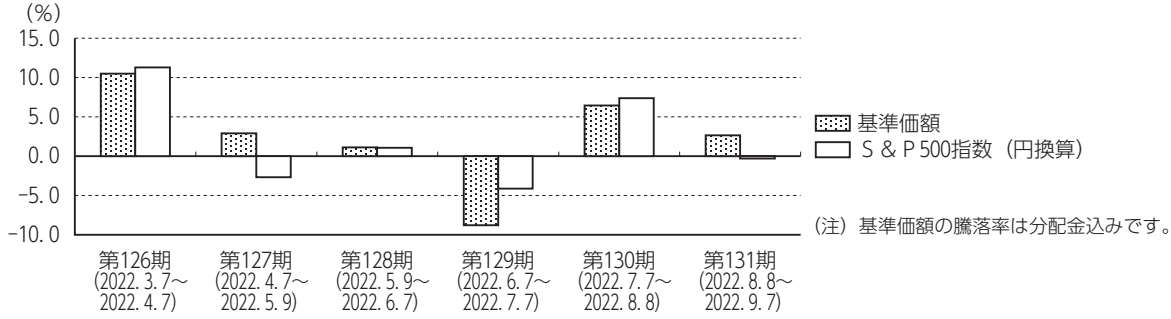
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第126期 2022年３月８日 ～2022年４月７日	第127期 2022年４月８日 ～2022年５月９日	第128期 2022年５月10日 ～2022年６月７日	第129期 2022年６月８日 ～2022年７月７日	第130期 2022年７月８日 ～2022年８月８日	第131期 2022年８月９日 ～2022年９月７日
当期分配金(税込み)（円）	**40**	**40**	**40**	**40**	**40**	**40**
対基準価額比率（％）	0.64	0.62	0.62	0.68	0.65	0.63
当期の収益　（円）	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外（円）	―	―	―	―	―	―
翌期繰越分配対象額（円）	782	793	804	815	825	837

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓ 50.58円	✓ 50.26円	✓ 51.58円	✓ 50.81円	✓ 49.98円	✓ 51.92円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	731.33	731.77	731.90	732.13	732.41	732.69
（ｄ）分配準備積立金	40.87	51.12	61.26	72.62	83.20	92.94
（ｅ）当期分配対象額（a+b+c+d）	822.78	833.16	844.75	855.57	865.59	877.55
（ｆ）分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（e－f）	782.78	793.16	804.75	815.57	825.59	837.55

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

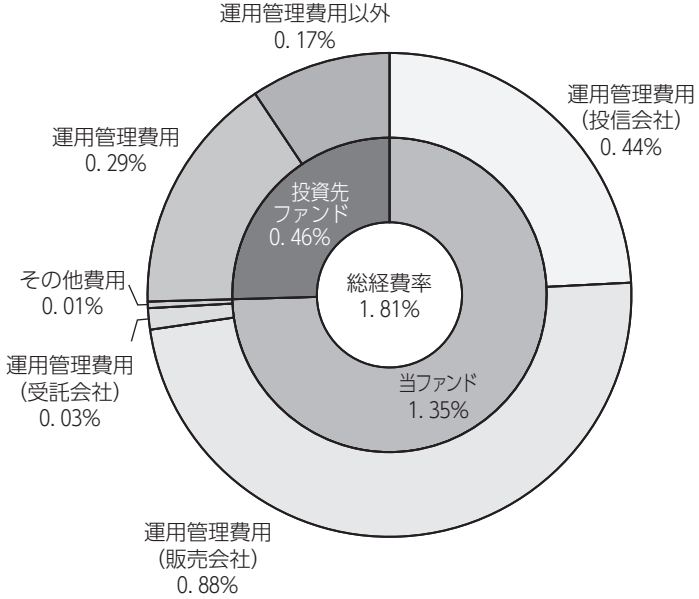
項　目	第126期～第131期 (2022. 3. 8～2022. 9. 7)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信託報酬	42円	0. 678%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は6, 178円です。**
（投信会社）	(14)	(0. 221)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(27)	(0. 443)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　計	42	0. 682	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.81%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、支払利息を含みません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2022年３月８日から2022年９月７日まで）

決　算　期	第　126　期　～　第　131　期			
	買　付		売　付	
	口　数	金　額	口　数	金　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	1, 224. 56836	167, 494	2, 705. 8965	376, 600

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2022年３月８日から2022年９月７日まで）

第　126　期　～　第　131　期							
買　付				売　付			
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS（ケイマン諸島）	199. 20593	28, 900	145	CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS（ケイマン諸島）	2, 705. 8965	376, 600	139

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　131　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	18, 482. 37563	2, 557, 720	98. 2

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　類	第125期末	第　131　期　末	
	口　数	口　数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	12	12

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年９月７日現在

項　目	第　131　期　末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	2, 557, 720	97. 4
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	0. 0
コール・ローン等、その他	67, 700	2. 6
投資信託財産総額	2, 625, 433	100. 0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2022年４月７日）、（2022年５月９日）、（2022年６月７日）、（2022年７月７日）、（2022年８月８日）、（2022年９月７日）現在

項　　目	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末	第130期末	第131期末
（A）資産	**2,788,115,633円**	**2,761,420,959円**	**2,755,479,696円**	**2,545,547,803円**	**2,580,783,711円**	**2,625,433,609円**
コール・ローン等	61,990,293	41,400,449	86,107,171	26,951,244	31,875,816	67,700,099
投資信託受益証券（評価額）	2,726,112,344	2,720,007,514	2,669,359,529	2,404,183,563	2,548,894,899	2,557,720,516
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	12,996	12,996	12,996	12,996	12,996	12,994
未収入金	—	—	—	114,400,000	—	—
（B）負債	**26,391,038**	**23,955,359**	**19,955,494**	**78,456,008**	**23,563,618**	**19,641,177**
未払金	—	—	—	57,200,000	—	—
未払収益分配金	17,694,644	17,151,153	17,058,317	16,982,276	16,642,296	16,626,244
未払解約金	5,600,466	3,451,282	3,300	1,362,759	3,822,889	12,401
未払信託報酬	3,077,102	3,313,822	2,837,421	2,837,162	3,006,231	2,892,638
その他未払費用	18,826	39,102	56,456	73,811	92,202	109,894
（C）純資産総額（A－B）	**2,761,724,595**	**2,737,465,600**	**2,735,524,202**	**2,467,091,795**	**2,557,220,093**	**2,605,792,432**
元本	4,423,661,172	4,287,788,437	4,264,579,289	4,245,569,096	4,160,574,182	4,156,561,010
次期繰越損益金	△ 1,661,936,577	△ 1,550,322,837	△ 1,529,055,087	△ 1,778,477,301	△ 1,603,354,089	△ 1,550,768,578
（D）受益権総口数	**4,423,661,172口**	**4,287,788,437口**	**4,264,579,289口**	**4,245,569,096口**	**4,160,574,182口**	**4,156,561,010口**
１万口当り基準価額（C／D）	**6,243円**	**6,384円**	**6,415円**	**5,811円**	**6,146円**	**6,269円**

＊当作成期首における元本額は4,499,251,118円、当作成期間（第126期～第131期）中における追加設定元本額は85,097,364円、同解約元本額は427,787,472円です。
＊第131期末の計算口数当りの純資産額は6,269円です。
＊第131期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,550,768,578円です。

■損益の状況

第126期　自 2022年３月８日　至 2022年４月７日
第127期　自 2022年４月８日　至 2022年５月９日
第128期　自 2022年５月10日　至 2022年６月７日
第129期　自 2022年６月８日　至 2022年７月７日
第130期　自 2022年７月８日　至 2022年８月８日
第131期　自 2022年８月９日　至 2022年９月７日

項　　目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
（A）配当等収益	**22,640,653円**	**22,483,679円**	**24,093,149円**	**24,428,706円**	**21,199,842円**	**22,510,414円**
受取配当金	22,640,842	22,484,262	24,093,372	24,429,718	21,200,163	22,511,028
受取利息	—	—	—	3	—	—
支払利息	△ 189	△ 583	△ 223	△ 1,015	△ 321	△ 614
（B）有価証券売買損益	**244,283,214**	**58,051,464**	**8,739,951**	**△ 260,791,176**	**137,863,987**	**48,025,357**
売買益	246,800,139	61,688,189	9,899,421	678,369	140,222,482	48,109,395
売買損	△ 2,516,925	△ 3,636,725	△ 1,159,470	△ 261,469,545	△ 2,358,495	△ 84,038
（C）信託報酬等	**△ 3,095,928**	**△ 3,334,098**	**△ 2,854,775**	**△ 2,854,517**	**△ 3,024,622**	**△ 2,910,330**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**263,827,939**	**77,201,045**	**29,978,325**	**△ 239,216,987**	**156,039,207**	**67,625,441**
（E）前期繰越損益金	**△ 384,520,301**	**△ 133,274,736**	**△ 72,673,766**	**△ 59,305,784**	**△ 308,300,309**	**△ 168,307,455**
（F）追加信託差損益金	**△ 1,523,549,571**	**△ 1,477,097,993**	**△ 1,469,301,329**	**△ 1,462,972,254**	**△ 1,434,450,691**	**△ 1,433,460,320**
（配当等相当額）	(323,516,109)	(313,767,628)	(312,126,389)	(310,832,656)	(304,724,835)	(304,547,375)
（売買損益相当額）	(△ 1,847,065,680)	(△ 1,790,865,621)	(△ 1,781,427,718)	(△ 1,773,804,910)	(△ 1,739,175,526)	(△ 1,738,007,695)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 1,644,241,933**	**△ 1,533,171,684**	**△ 1,511,996,770**	**△ 1,761,495,025**	**△ 1,586,711,793**	**△ 1,534,142,334**
（H）収益分配金	**△ 17,694,644**	**△ 17,151,153**	**△ 17,058,317**	**△ 16,982,276**	**△ 16,642,296**	**△ 16,626,244**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 1,661,936,577**	**△ 1,550,322,837**	**△ 1,529,055,087**	**△ 1,778,477,301**	**△ 1,603,354,089**	**△ 1,550,768,578**
追加信託差損益金	△ 1,523,549,571	△ 1,477,097,993	△ 1,469,301,329	△ 1,462,972,254	△ 1,434,450,691	△ 1,433,460,320
（配当等相当額）	(323,516,109)	(313,767,628)	(312,126,389)	(310,832,656)	(304,724,835)	(304,547,375)
（売買損益相当額）	(△ 1,847,065,680)	(△ 1,790,865,621)	(△ 1,781,427,718)	(△ 1,773,804,910)	(△ 1,739,175,526)	(△ 1,738,007,695)
分配準備積立金	22,763,482	26,324,203	31,066,090	35,425,094	38,770,503	43,589,193
繰越損益金	△ 161,150,488	△ 99,549,047	△ 90,819,848	△ 350,930,141	△ 207,673,901	△ 160,897,451

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
(a) 経費控除後の配当等収益	22, 378, 118円	21, 552, 799円	21, 998, 315円	21, 574, 189円	20, 796, 660円	21, 581, 728円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	323, 516, 109	313, 767, 628	312, 126, 389	310, 832, 656	304, 724, 835	304, 547, 375
(d) 分配準備積立金	18, 080, 008	21, 922, 557	26, 126, 092	30, 833, 181	34, 616, 139	38, 633, 709
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	363, 974, 235	357, 242, 984	360, 250, 796	363, 240, 026	360, 137, 634	364, 762, 812
(f) 分配金	17, 694, 644	17, 151, 153	17, 058, 317	16, 982, 276	16, 642, 296	16, 626, 244
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	346, 279, 591	340, 091, 831	343, 192, 479	346, 257, 750	343, 495, 338	348, 136, 568
(h) 受益権総口数	4, 423, 661, 172口	4, 287, 788, 437口	4, 264, 579, 289口	4, 245, 569, 096口	4, 160, 574, 182口	4, 156, 561, 010口

収益分配金のお知らせ						
1万口当り分配金（税込み）	第126期	第127期	第128期	第129期	第130期	第131期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

Ｓ＆Ｐ500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ®、Ｓ＆Ｐ500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® およびCDX® は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「Ｓ＆Ｐ」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）は、SPDJI、Dow Jones、Ｓ＆Ｐ、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Ｓ＆Ｐ500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

通貨セレクト・コース（毎月分配型）

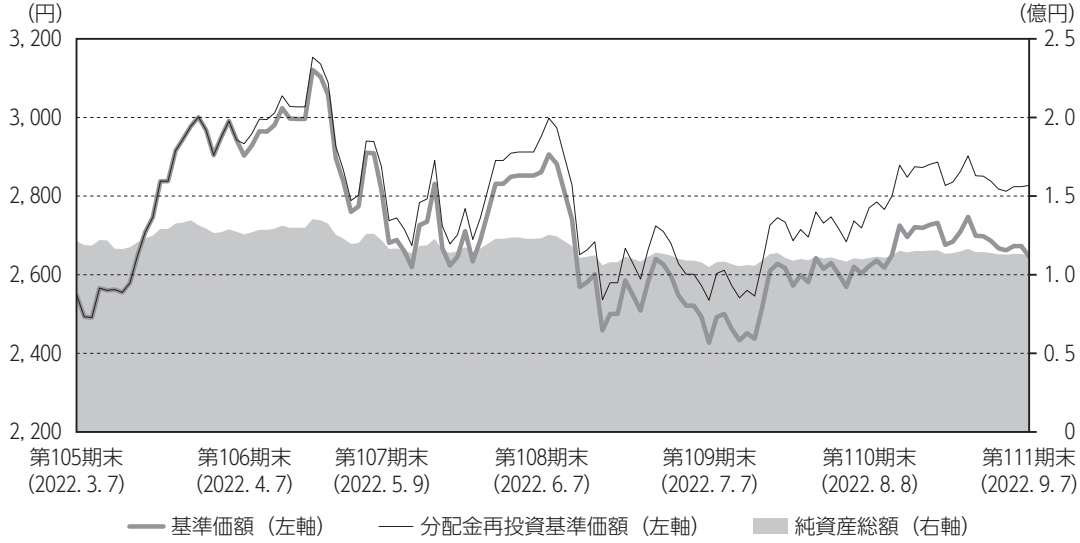
最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
82期末（2020年4月7日）	2,101	40	△ 19.8	16,100	△ 10.4	—	98.8	124
83期末（2020年5月7日）	2,160	40	4.7	17,217	6.9	—	98.6	129
84期末（2020年6月8日）	2,523	40	18.7	19,306	12.1	—	97.9	153
85期末（2020年7月7日）	2,411	30	△ 3.3	19,220	△ 0.4	—	99.2	146
86期末（2020年8月7日）	2,342	30	△ 1.6	20,244	5.3	—	98.3	139
87期末（2020年9月7日）	2,345	30	1.4	20,714	2.3	—	99.5	140
88期末（2020年10月7日）	2,287	30	△ 1.2	20,315	△ 1.9	—	98.0	136
89期末（2020年11月9日）	2,240	30	△ 0.7	21,213	4.4	—	98.1	132
90期末（2020年12月7日）	2,461	30	11.2	22,359	5.4	—	98.7	147
91期末（2021年1月7日）	2,518	30	3.5	22,655	1.3	—	98.1	146
92期末（2021年2月8日）	2,610	30	4.8	23,494	3.7	—	99.3	152
93期末（2021年3月8日）	2,603	30	0.9	23,222	△ 1.2	—	99.8	149
94期末（2021年4月7日）	2,732	30	6.1	24,625	6.0	—	98.0	158
95期末（2021年5月7日）	2,776	30	2.7	25,396	3.1	—	98.1	160
96期末（2021年6月7日）	2,792	30	1.7	25,567	0.7	—	98.0	159
97期末（2021年7月7日）	2,790	30	1.0	26,254	2.7	—	98.5	160
98期末（2021年8月10日）	2,823	30	2.3	26,791	2.0	—	98.0	158
99期末（2021年9月7日）	2,890	30	3.4	27,414	2.3	—	98.0	159
100期末（2021年10月7日）	2,703	30	△ 5.4	26,375	△ 3.8	—	99.0	149
101期末（2021年11月8日）	2,770	30	3.6	28,394	7.7	—	99.1	151
102期末（2021年12月7日）	2,472	30	△ 9.7	27,754	△ 2.3	—	99.1	138
103期末（2022年1月7日）	2,669	30	9.2	28,385	2.3	—	99.2	145
104期末（2022年2月7日）	2,608	30	△ 1.2	27,203	△ 4.2	—	99.4	123
105期末（2022年3月7日）	2,549	30	△ 1.1	26,166	△ 3.8	—	97.5	121
106期末（2022年4月7日）	2,903	30	15.1	27,086	3.5	—	99.7	125
107期末（2022年5月9日）	2,816	30	△ 2.0	24,923	△ 8.0	—	98.5	122
108期末（2022年6月7日）	2,861	30	2.7	24,912	△ 0.0	—	97.5	123
109期末（2022年7月7日）	2,427	30	△ 14.1	23,241	△ 6.7	—	99.2	104
110期末（2022年8月8日）	2,622	30	9.3	25,055	7.8	—	99.2	110
111期末（2022年9月7日）	2,646	30	2.1	23,623	△ 5.7	—	98.5	112

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）S＆P500指数（米ドルベース）は、S＆P500指数（米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
（注3）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注4）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注5）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注6）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第106期首：2,549円
第111期末：2,646円（既払分配金180円）
騰　落　率：10.9%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

投資したクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）については、米国株式市況の下落はマイナス要因となったものの、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）や選定通貨が対円でおおむね上昇（円安）したこと、オプション取引戦略がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

	年　月　日	基準価額		S＆P500指数（米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
			騰落率	（参考指数）	騰落率		
		円	%		%	%	%
第106期	（期首）2022年3月7日	2,549	—	26,166	—	—	97.5
	3月末	2,968	16.4	27,819	6.3	—	98.0
	（期末）2022年4月7日	2,933	15.1	27,086	3.5	—	99.7
第107期	（期首）2022年4月7日	2,903	—	27,086	—	—	99.7
	4月末	2,774	△ 4.4	25,290	△ 6.6	—	96.3
	（期末）2022年5月9日	2,846	△ 2.0	24,923	△ 8.0	—	98.5
第108期	（期首）2022年5月9日	2,816	—	24,923	—	—	98.5
	5月末	2,831	0.5	25,134	0.8	—	98.5
	（期末）2022年6月7日	2,891	2.7	24,912	△ 0.0	—	97.5
第109期	（期首）2022年6月7日	2,861	—	24,912	—	—	97.5
	6月末	2,597	△ 9.2	23,083	△ 7.3	—	98.1
	（期末）2022年7月7日	2,457	△ 14.1	23,241	△ 6.7	—	99.2
第110期	（期首）2022年7月7日	2,427	—	23,241	—	—	99.2
	7月末	2,615	7.7	24,616	5.9	—	97.9
	（期末）2022年8月8日	2,652	9.3	25,055	7.8	—	99.2
第111期	（期首）2022年8月8日	2,622	—	25,055	—	—	99.2
	8月末	2,686	2.4	24,094	△ 3.8	—	98.9
	（期末）2022年9月7日	2,676	2.1	23,623	△ 5.7	—	98.5

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 3. 8 ～ 2022. 9. 7）

■米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首より、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利上げ決定を受けて上昇してスタートしました。2022年４月から６月にかけては、インフレ率の予想以上の上昇を受けてＦＲＢが利上げを加速するとの思惑が強まり、景気の先行き懸念が台頭したことで、株価は下落しました。その後は、資源価格の上昇一服でインフレ懸念が後退し、将来的な利下げ転換期待なども生じたことで８月半ばにかけて上昇しましたが、ＦＲＢ高官の金融引き締めに積極的な発言などを受け、当作成期末にかけて株価は反落しました。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね上昇しました。

当作成期における選定通貨の値動きは、米国金利の上昇を受けて米ドル買い／円売りの動きが加速し、円安傾向となったことから、インド・ルピー、メキシコ・ペソ、中国・人民元、ブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、チリ・ペソ、ルーマニア・レイ、チェコ・コルナ、ハンガリー・フォリント、ポーランド・ズロチは対円で上昇しました。一方で、トルコ・リラは対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。一方、米国では政策金利の誘導目標レンジが0. 00～0. 25％から2. 25～2. 50％に段階的に引き上げられました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、ＦＴＳＥ世界国債インデックスおよびＪＰモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、６つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2022. 3. 8 ～ 2022. 9. 7）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益（利息収入）が享受できる通貨を毎月６通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100％を維持しました。

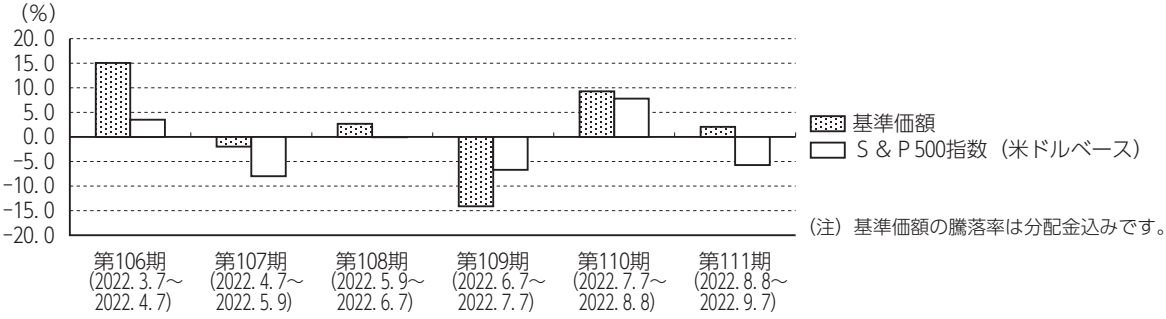
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。
収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第106期 2022年３月８日 ～2022年４月７日	第107期 2022年４月８日 ～2022年５月９日	第108期 2022年５月10日 ～2022年６月７日	第109期 2022年６月８日 ～2022年７月７日	第110期 2022年７月８日 ～2022年８月８日	第111期 2022年８月９日 ～2022年９月７日
当期分配金（税込み）（円）	**30**	**30**	**30**	**30**	**30**	**30**
対基準価額比率（％）	1.02	1.05	1.04	1.22	1.13	1.12
当期の収益　（円）	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外（円）	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額（円）	525	530	540	550	557	567

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
（ａ）経費控除後の配当等収益	✓ 34.66円	✓ 34.23円	✓ 40.15円	✓ 39.82円	✓ 36.86円	✓ 39.88円
（ｂ）経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
（ｃ）収益調整金	391.48	391.90	392.16	392.87	393.37	394.19
（ｄ）分配準備積立金	129.78	134.06	138.04	147.55	156.90	163.02
（ｅ）当期分配対象額（a+b+c+d）	555.93	560.20	570.36	580.25	587.14	597.10
（ｆ）分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
（ｇ）翌期繰越分配対象額（e－f）	525.93	530.20	540.36	550.25	557.14	567.10

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

Ｓ＆Ｐ500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からＧＩＣＳ（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、ＦＴＳＥ世界国債インデックスおよびＪＰモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、６つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

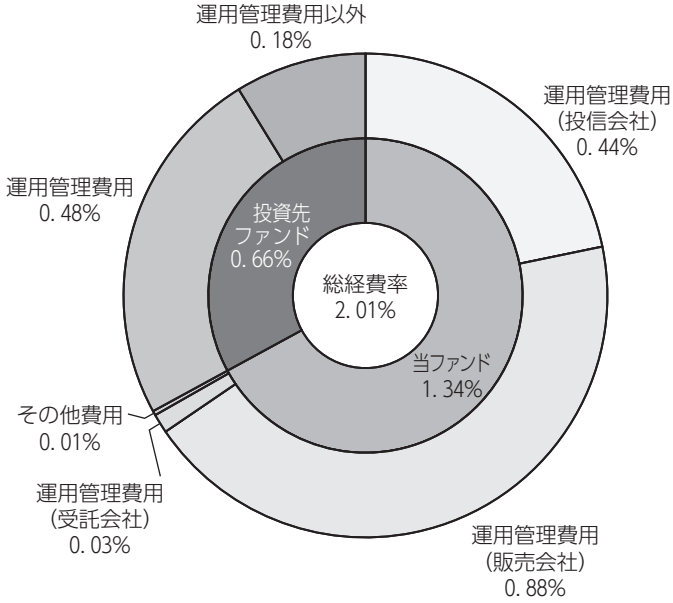
項　目	第106期～第111期（2022. 3. 8～2022. 9. 7）		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信託報酬	18円	0. 676%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は2, 719円です。**
（投信会社）	(6)	(0. 220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(12)	(0. 442)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　計	18	0. 678	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	2.01%
①当ファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.48%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、支払利息を含みません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2022年３月８日から2022年９月７日まで）

決　算　期	第　106　期　～　第　111　期			
	買　　付		売　　付	
	口　　数	金　　額	口　　数	金　　額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	547.07518	15,197	931.41245	26,300

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2022年３月８日から2022年９月７日まで）

第　106　期　～　第　111　期							
買　付				売　付			
銘　柄	口　数	金　額	平均単価	銘　柄	口　数	金　額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS（ケイマン諸島）	174.23314	4,900	28	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS（ケイマン諸島）	931.41245	26,300	28

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第　111　期　末		
	口　数	評価額	比　率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	4,049.49665	110,417	98.5

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種　類	第105期末	第　111　期　末	
	口　数	口　数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	9	9

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年９月７日現在

項　目	第　111　期　末	
	評価額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	110,417	96.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	4,187	3.7
投資信託財産総額	114,614	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2022年４月７日）、（2022年５月９日）、（2022年６月７日）、（2022年７月７日）、（2022年８月８日）、（2022年９月７日）現在

項　　目	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末
（A）資産	**127, 388, 399円**	**124, 781, 428円**	**128, 988, 631円**	**106, 366, 521円**	**112, 027, 609円**	**114, 614, 860円**
コール・ローン等	2, 105, 599	4, 516, 149	1, 965, 632	2, 270, 729	2, 285, 987	4, 187, 424
投資信託受益証券（評価額）	125, 272, 988	120, 255, 467	120, 213, 188	104, 085, 980	109, 731, 810	110, 417, 625
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	9, 812	9, 812	9, 812	9, 812	9, 812	9, 811
未収入金	—	—	6, 799, 999	—	—	—
（B）負債	**1, 740, 171**	**2, 754, 621**	**5, 725, 474**	**1, 425, 114**	**1, 401, 009**	**2, 502, 068**
未払金	—	1, 300, 000	3, 400, 000	—	—	1, 100, 000
未払収益分配金	1, 298, 259	1, 299, 787	1, 292, 389	1, 297, 183	1, 265, 673	1, 271, 289
未払解約金	297, 746	2, 760	903, 735	—	2, 607	—
未払信託報酬	143, 306	150, 308	126, 825	124, 659	128, 688	125, 979
その他未払費用	860	1, 766	2, 525	3, 272	4, 041	4, 800
（C）純資産総額（A－B）	**125, 648, 228**	**122, 026, 807**	**123, 263, 157**	**104, 941, 407**	**110, 626, 600**	**112, 112, 792**
元本	432, 753, 312	433, 262, 624	430, 796, 383	432, 394, 652	421, 891, 101	423, 763, 312
次期繰越損益金	△ 307, 105, 084	△ 311, 235, 817	△ 307, 533, 226	△ 327, 453, 245	△ 311, 264, 501	△ 311, 650, 520
（D）受益権総口数	**432, 753, 312口**	**433, 262, 624口**	**430, 796, 383口**	**432, 394, 652口**	**421, 891, 101口**	**423, 763, 312口**
１万口当り基準価額（C／D）	**2, 903円**	**2, 816円**	**2, 861円**	**2, 427円**	**2, 622円**	**2, 646円**

＊当作成期首における元本額は476, 003, 249円、当作成期間（第106期～第111期）中における追加設定元本額は11, 368, 766円、同解約元本額は63, 608, 703円です。
＊第111期末の計算口数当りの純資産額は2, 646円です。
＊第111期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は311, 650, 520円です。

■損益の状況

第106期　自 2022年３月８日　至 2022年４月７日
第107期　自 2022年４月８日　至 2022年５月９日
第108期　自 2022年５月10日　至 2022年６月７日
第109期　自 2022年６月８日　至 2022年７月７日
第110期　自 2022年７月８日　至 2022年８月８日
第111期　自 2022年８月９日　至 2022年９月７日

項　　目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
（A）配当等収益	**1, 513, 303円**	**1, 634, 382円**	**1, 798, 296円**	**1, 847, 492円**	**1, 576, 703円**	**1, 785, 097円**
受取配当金	1, 513, 310	1, 634, 382	1, 798, 309	1, 847, 537	1, 576, 705	1, 785, 111
支払利息	△ 7	—	△ 13	△ 45	△ 2	△ 14
（B）有価証券売買損益	**15, 143, 350**	**△ 3, 951, 836**	**1, 553, 302**	**△ 19, 171, 337**	**8, 047, 357**	**600, 096**
売買益	16, 043, 362	5, 261	1, 553, 065	3, 038	8, 226, 412	600, 539
売買損	△ 900, 012	△ 3, 957, 097	237	△ 19, 174, 375	△ 179, 055	△ 443
（C）信託報酬等	**△ 144, 166**	**△ 151, 214**	**△ 127, 584**	**△ 125, 406**	**△ 129, 457**	**△ 126, 738**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**16, 512, 487**	**△ 2, 468, 668**	**3, 224, 014**	**△ 17, 449, 251**	**9, 494, 603**	**2, 258, 455**
（E）前期繰越損益金	**△ 66, 013, 950**	**△ 50, 712, 611**	**△ 54, 073, 527**	**△ 52, 107, 226**	**△ 68, 923, 564**	**△ 60, 684, 458**
（F）追加信託差損益金	**△ 256, 305, 362**	**△ 256, 754, 751**	**△ 255, 391, 324**	**△ 256, 599, 585**	**△ 250, 569, 867**	**△ 251, 953, 228**
（配当等相当額）	(16, 941, 736)	(16, 979, 938)	(16, 894, 141)	(16, 987, 724)	(16, 596, 130)	(16, 704, 675)
（売買損益相当額）	(△ 273, 247, 098)	(△ 273, 734, 689)	(△ 272, 285, 465)	(△ 273, 587, 309)	(△ 267, 165, 997)	(△ 268, 657, 903)
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 305, 806, 825**	**△ 309, 936, 030**	**△ 306, 240, 837**	**△ 326, 156, 062**	**△ 309, 998, 828**	**△ 310, 379, 231**
（H）収益分配金	**△ 1, 298, 259**	**△ 1, 299, 787**	**△ 1, 292, 389**	**△ 1, 297, 183**	**△ 1, 265, 673**	**△ 1, 271, 289**
次期繰越損益金（G＋H）	**△ 307, 105, 084**	**△ 311, 235, 817**	**△ 307, 533, 226**	**△ 327, 453, 245**	**△ 311, 264, 501**	**△ 311, 650, 520**
追加信託差損益金	△ 256, 305, 362	△ 256, 754, 751	△ 255, 391, 324	△ 256, 599, 585	△ 250, 569, 867	△ 251, 953, 228
（配当等相当額）	(16, 941, 736)	(16, 979, 938)	(16, 894, 141)	(16, 987, 724)	(16, 596, 130)	(16, 704, 675)
（売買損益相当額）	(△ 273, 247, 098)	(△ 273, 734, 689)	(△ 272, 285, 465)	(△ 273, 587, 309)	(△ 267, 165, 997)	(△ 268, 657, 903)
分配準備積立金	5, 818, 363	5, 991, 766	6, 384, 401	6, 805, 057	6, 909, 509	7, 327, 307
繰越損益金	△ 56, 618, 085	△ 60, 472, 832	△ 58, 526, 303	△ 77, 658, 717	△ 67, 604, 143	△ 67, 024, 599

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
(a) 経費控除後の配当等収益	1, 500, 198円	1, 483, 168円	1, 729, 847円	1, 722, 086円	1, 555, 498円	1, 690, 246円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	16, 941, 736	16, 979, 938	16, 894, 141	16, 987, 724	16, 596, 130	16, 704, 675
(d) 分配準備積立金	5, 616, 424	5, 808, 385	5, 946, 943	6, 380, 154	6, 619, 684	6, 908, 350
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	24, 058, 358	24, 271, 491	24, 570, 931	25, 089, 964	24, 771, 312	25, 303, 271
(f) 分配金	1, 298, 259	1, 299, 787	1, 292, 389	1, 297, 183	1, 265, 673	1, 271, 289
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	22, 760, 099	22, 971, 704	23, 278, 542	23, 792, 781	23, 505, 639	24, 031, 982
(h) 受益権総口数	432, 753, 312口	433, 262, 624口	430, 796, 383口	432, 394, 652口	421, 891, 101口	423, 763, 312口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ						
1万口当り分配金（税込み）	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

Ｓ＆Ｐ500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ®、Ｓ＆Ｐ500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® および CDX® は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「Ｓ＆Ｐ」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）は、SPDJI、Dow Jones、Ｓ＆Ｐ、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Ｓ＆Ｐ500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス）

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－日本円・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）／米ドル・コース（毎月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト―クロッキーＵＳストラテジー・ファンド（日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス）」を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

（注）2022年９月７日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表

2022年２月28日

資産		
投資資産の評価額（簿価 ¥17, 492, 760, 387）	¥	17, 718, 478, 675
現金および現金同等物		86, 381, 861
スワップ取引による評価益		4, 433, 462
終了したスワップ取引に係る未収金		780, 423, 813
資産合計		18, 589, 717, 811
負債		
スワップ取引による評価損		17, 252, 506
未払：		
専門家報酬		37, 281, 310
担保不足額		22, 533, 988
運用会社報酬		2, 300, 839
管理会社報酬		1, 759, 922
登録料		492, 435
名義書換代理人報酬		482, 375
受託会社報酬		171, 075
為替投資アドバイザー報酬		49, 354
負債合計		82, 323, 804
純資産	¥	18, 507, 394, 007
豪ドル・クラス	¥	954, 233, 206
ブラジル・レアル・クラス		14, 593, 434, 798
日本円・クラス		333, 626, 006
通貨セレクト・クラス		121, 109, 552
米ドル・クラス		2, 504, 990, 445
	¥	18, 507, 394, 007

発行済み受益証券		
豪ドル・クラス		12, 402, 028
ブラジル・レアル・クラス		469, 097, 974
日本円・クラス		4, 233, 475
通貨セレクト・クラス		4, 567, 588
米ドル・クラス		19, 963, 704
受益証券１口当り純資産額		
豪ドル・クラス	¥	76. 942
ブラジル・レアル・クラス	¥	31. 110
日本円・クラス	¥	78. 807
通貨セレクト・クラス	¥	26. 515
米ドル・クラス	¥	125. 477

（日本円建て）

損益計算書

2022年２月28日に終了した年度

費用		
運用会社報酬	¥	30, 764, 568
専門家報酬		27, 462, 341
担保不足費用		17, 501, 088
支払利息		14, 837, 383
管理会社報酬		13, 295, 404
名義書換代理人報酬		2, 347, 390
受託会社報酬		1, 293, 996
為替投資アドバイザー報酬		223, 376
その他費用		745, 182
費用合計		108, 470, 728
投資純損失		(108, 470, 728)
実現益／（損）および評価益／（損）：		
実現益／（損）の内訳：		
証券投資		4, 476, 107, 004
スワップ取引		1, 196, 462, 321
外国為替取引および外国為替先渡取引		(9, 928, 027)
純実現益		5, 662, 641, 298
評価益／（損）の純変動の内訳：		
証券投資		667, 035, 403
スワップ取引		294, 442, 790
外国為替換算		(909, 810)
評価益の純変動		960, 568, 383
純実現益・評価益		6, 623, 209, 681
運用による純資産の純減	¥	6, 514, 738, 953

（日本円建て）

投資明細表

2022年 2 月28日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券数	純資産に占める割合	評価額
Share Basket Swap Transaction* - トータル・リターン・スワップ	1, 195, 986	95. 74%	￥ 17, 718, 478, 675
ストラクチャード商品計（簿価 ￥17, 492, 760, 387）			**17, 718, 478, 675**
投資資産計（簿価 ￥17, 492, 760, 387）		**95. 74%**	**￥ 17, 718, 478, 675**

＊当ファンドは J. P. Morgan Securities plc. との間で締結したファンドの残高と同金額の元本のパフォーマンス・スワップを通じて Share Basket Swap Transaction と同様のエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益（損）	純資産に占める割合
ＡＵＤ	J. P. Morgan Securities plc	10, 798, 835	3/31/2022	ＵＳＤ	(7, 836, 174)	￥ 3, 313, 684	0. 02%

ブラジル・レアル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益（損）	純資産に占める割合
ＢＲＬ	J. P. Morgan Securities plc	621, 761, 132	3/31/2022	ＵＳＤ	(120, 690, 476)	￥ (16, 680, 631)	(0. 09) %

日本円・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益（損）	純資産に占める割合
ＪＰＹ	J. P. Morgan Securities plc	328, 386, 581	3/31/2022	ＵＳＤ	(2, 851, 197)	￥ 998, 388	0. 01%

通貨セレクト・クラス為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益（損）	純資産に占める割合
ＢＲＬ	J. P. Morgan Securities plc	1, 104, 646	3/31/2022	ＵＳＤ	(214, 424)	￥ (29, 634)	(0. 00) %
ＣＬＰ	J. P. Morgan Securities plc	130, 324, 189	3/31/2022	ＵＳＤ	(163, 971)	121, 390	0. 00%
ＣＯＰ	J. P. Morgan Securities plc	639, 487, 961	3/31/2022	ＵＳＤ	(163, 971)	(3, 233)	(0. 00) %
ＣＺＫ	J. P. Morgan Securities plc	102, 705	3/31/2022	ＵＳＤ	(4, 581)	(64, 541)	(0. 00) %
ＩＮＲ	J. P. Morgan Securities plc	12, 671, 598	3/31/2022	ＵＳＤ	(168, 175)	(97, 886)	(0. 00) %
ＭＸＮ	J. P. Morgan Securities plc	3, 693, 963	3/31/2022	ＵＳＤ	(180, 789)	(10, 102)	(0. 00) %
ＲＯＮ	J. P. Morgan Securities plc	703, 892	3/31/2022	ＵＳＤ	(159, 767)	(55, 229)	(0. 00) %
ＲＵＢ	J. P. Morgan Securities plc	1, 033, 257	3/31/2022	ＵＳＤ	(9, 640)	(311, 250)	(0. 00) %
合計						**￥ (450, 485)**	**(0. 00) %**

外国為替スワップ取引に係る評価益	￥ 4, 433, 462
外国為替スワップ取引に係る評価損	(17, 252, 506)
合計	**￥ (12, 819, 044)**

用語集：

ＡＵＤ	豪ドル
ＢＲＬ	ブラジル・レアル
ＣＬＰ	チリ・ペソ
ＣＯＰ	コロンビア・ペソ
ＣＺＫ	チェコ・コルナ
ＩＮＲ	インド・ルピー
ＪＰＹ	日本・円
ＭＸＮ	メキシコ・ペソ
ＲＯＮ	ルーマニア・レイ
ＲＵＢ	ロシア・ルーブル
ＵＳＤ	米ドル

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2021年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2022年９月９日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年３月８日～2022年９月９日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年９月９日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書　第17期（決算日　2021年12月９日）

（作成対象期間　2020年12月10日～2021年12月９日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

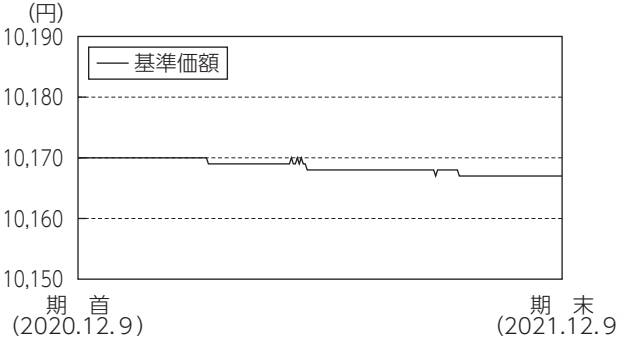
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30％以下

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年　月　日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2020年12月9日	10,170	－	－
12月末	10,170	0.0	－
2021年1月末	10,170	0.0	－
2月末	10,170	0.0	－
3月末	10,169	△0.0	－
4月末	10,169	△0.0	－
5月末	10,169	△0.0	－
6月末	10,168	△0.0	－
7月末	10,168	△0.0	－
8月末	10,168	△0.0	－
9月末	10,167	△0.0	－
10月末	10,167	△0.0	－
11月末	10,167	△0.0	－
(期末)2021年12月9日	10,167	△0.0	－

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,170円　期末：10,167円　騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項　目	当　期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	0
(その他)	(0)
合　計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
その他有価証券

(2020年12月10日から2021年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国内短期社債等	110,997,998	111,997,992 (　　－)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月９日現在

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	6,782,301	100.0
投資信託財産総額	6,782,301	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月９日現在

項目	当期末
(A) 資産	**6,782,301,285円**
コール・ローン等	6,782,301,285
(B) 負債	**－**
(C) 純資産総額(A－B)	**6,782,301,285**
元本	6,671,046,264
次期繰越損益金	111,255,021
(D) 受益権総口数	**6,671,046,264口**
１万口当り基準価額(C／D)	**10,167円**

＊期首における元本額は66,337,383,629円、当作成期間中における追加設定元本額は24,638,372,125円、同解約元本額は84,304,709,490円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ日経225－シフト11－　2019－03（適格機関投資家専用）	531,632,690円
ゴールド・ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用）	1,965,311,641円
ターゲット・リターン（コスト控除後３％）資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用）	129,833円
ターゲット・リターン（コスト控除後５％）資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用）	160,914円
ダイワ・グローバルＩｏＴ関連株ファンド　－ＡＩ新時代－　（為替ヘッジあり）	977,694円
ダイワ・グローバルＩｏＴ関連株ファンド　－ＡＩ新時代－　（為替ヘッジなし）	977,694円
ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジあり）	9,608円
ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジなし）	9,608円
ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり）	49,107円
ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし）	49,107円
ダイワ／“ＲＩＣＩ®”コモディティ・ファンド	2,074,249円
ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）	1,676円
ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジなし／年１回決算型）	1,330円
ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）	180,729円
ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）	737,649円
ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）	95,276円
ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）	337,885円
世界セレクティブ株式オープン	983円
世界セレクティブ株式オープン（年２回決算型）	983円
ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／毎月分配型）	983円
ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／毎月分配型）	983円
ＤＣダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,082,297,237円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　日本円・コース（毎月分配型）	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　豪ドル・コース（毎月分配型）	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　米ドル・コース（毎月分配型）	12,784円
ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド　－パラダイムシフト－	1,988,495円
ダイワＦＥグローバル・バリュー株ファンド（ダイワＳＭＡ専用）	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）米ドル・コース（毎月分配型）	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）	22,592円
ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ	80,587,771円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）	96,254円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド　－インフラ革命－　（為替ヘッジあり）	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド　－インフラ革命－　（為替ヘッジなし）	11,530円
ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）米ドルコース	9,817円
ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）日本円コース	6,964円
ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα（毎月分配型）	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	979,761円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式＆通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　通貨セレクト・コース（毎月分配型）	9,652円

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,167円です。

■損益の状況

当期　自2020年12月10日　至2021年12月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	**△ 6,353,364円**
受取利息	34,938
支払利息	△ 6,388,302
(B) その他費用	**△ 30,929**
(C) 当期損益金(A＋B)	**△ 6,384,293**
(D) 前期繰越損益金	**1,128,566,954**
(E) 解約差損益金	**△1,428,973,017**
(F) 追加信託差損益金	**418,045,377**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**111,255,021**
次期繰越損益金(G)	**111,255,021**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。